

- 【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。
- 【学びに向かう力、人間性等】 言葉の持つ価値への認識を深め言語感覚を磨き、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようになる。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で、自分の思いや考えを広げ深めることができるようになる。	言葉がもつ価値への認識を深め、読書に親しみ自己を向上させ、言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域		評価規準	知	思	態	配当 時数	
		読 書	書 読						
1 学 期	現代文編 1 ことばと出会う 「言葉の森を育てよう」 「言葉と愛」	・言葉についての筆者の考えを読み取り、言葉が果たしている役割を理解する。 ・日常使っている言葉を見つめ直す。	○	○	【知識・技能】 ・言葉に文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確にとらえている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・言葉についての筆者の考えを読み取ることに興味をもち、日常使っている言葉を見つめ直すようとしている。	○	○	○	6
	現代文編 2 表現を味わう 「水かまきり」 「とんかつ」	・叙述をもとに、場面の様子や人物の心情を想像しながら読む。 ・文章の展開のしかたや表現のしかたに着目し、文章表現を味わう。			○	○	○	○	5
	定期考査					○	○		1
	古文編 1 古文に親しむ 「古文への招待」 「見のぞら寝」	・古典の言葉と現代の言葉のつながりについて理解する。 ・受け継がれてきた古文を音読し、響きやリズムを味わう。	○		○	○	○	○	8
	漢文編 1 漢文に親しむ 「訓読のきまり」 「格言」 「再読文字」	・漢文の訓読のきまりについて理解する。 ・漢語・漢文と我が国の言語文化の関係について理解を深める。	○		○	○	○	○	7
定期考査					○	○		1	
2 学 期	現代文編 3 文化を見つめる 「漢字と仮名の使い分け」 「アナログ的な日本の四季」	・日本文化の特徴について、筆者の主張をとらえる。 ・身のまわりの例を探しながら、日本文化の特色について理解を深める。	○		○	○	○	○	8
	現代文編 4 物語を受け継ぐ 「羅生門」	・小説の構成をとらえ、登場人物の心情の変化を読み取る。 ・写になった古典作品との比較をふまえて、内容の解釈を深める。	○		○	○	○	○	7
	定期考査					○	○		1
	古文編 2 随筆を楽しむ 「徒然草」 「枕草子」	・音読して古文の読み慣れ、文章の特色を理解する。 ・作者のものの見方や感じ方について、自分の考えをもつ。			○	○	○	○	7
	漢文編 2 現代に生きることば 「守株」 「五十歩百歩」 「蛇足」 「借虎威」	・表題の言葉の意味について、考えを深める。 ・この話で語られている教訓の意義を理解する。			○	○	○	○	6
定期考査					○	○		1	
3 学 期	現代文編 5 ことばと多様性 「祖母が笑うということ」	・叙述をもとに、場面の様子や人物の心情を想像しながら読む。 ・文章の展開のしかたや表現のしかたに着目し、文章表現を味わう。	○		○	○	○	○	5
	古文編 3 物語の広がり 「伊勢物語」 「平家物語」	・登場人物の行動や場面の展開を正確に把握する。 ・和歌に表れた心情を読み取り、本文の中で和歌が果たしている役割を考える。	○		○	○	○	○	6
	漢文編 3 古人に学ぶ 「論語」	・『論語』の内容を正確にとらえ、学問と人生について孔子の考え方を理解する。 ・孔子の思想と現代との関わりについて、自分の考えを深める。	○		○	○	○	○	8
	定期考査					○	○		1
								合計	78

【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】 言葉の持つ価値への認識を深め言語感覚を磨き、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨く。	進んで表現することによって国語力の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域		評価規準	知	思	態	配当 時数	
		読	書						
1 ことばをひらく ・ことばの学びに向けて 「この春、なにを始めよう」 「コミュニケーションは技術だ」	筆者の考えを読み取り、「現代の国語」の学習に対する意欲を持たせる。			【知識・技能】 ・主張と根拠などの関係について理解している。〔2ア〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述をもとに的確にとらえ、要旨や要点を把握している。〔11ア〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・筆者の主張をふまえて、「現代の国語」の学習に前向きに取り組もうとしている。					6
	1 ことばをひらく ・ことばの準備体操	発音や聞き方に注意して話したり聞いたりするようにする。 読みやすくわかりやすい字で正確に書けるようにする。 声量や速さ、間、強弱を工夫して音読できるようにする。			【知識・技能】 ・言葉の大切さを意識し、よりよい言葉の使い方を工夫しながら「話す」「聞く」「読む」「読む」活動に取り組んでいる。〔11ウ〕 ・話し言葉と書き言葉の特質を認識し、はっきりした発音、適切な聞く姿勢、読み手にとってわかりやすい字形、音読の工夫に注意しながら活動に取り組んでいる。〔11イ、ウ、エ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・「話す」「聞く」「書く」「読む」それぞれの活動に対して意欲をもっている。				4
	2 日本語を使いこなす ・ことばを選んで話そう	場面や目的に応じて適切な言葉を選ぶようにする。 敬語の正しい使い方や類義語のニュアンスの違いを理解し、適切に使ひ合わせる。			【知識・技能】 ・場面や目的に応じた適切な言葉、敬語の正しい使い方、類義語のニュアンスについて正しく理解している。〔11イ〕 【思考・判断・表現】 ・「話すこと・聞くこと」において、話し言葉の特質をふまえて、場面に応じた適切な言葉や表現を工夫している。〔A11ウ〕 ・「書くこと」において、場面や目的に応じた適切な言葉を選び、表現のしなやか工夫している。〔11イ、ウ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・言葉を使い分けるときに意欲をもち、言葉意識をもち、自らの言語生活を豊かにしようとしている。				8
	2 日本語を使いこなす ・正しく書こう ・文を整え、文をつなぐ	正しく適切な表記について理解させる。表記や依り受けに注意して、正確で整った文を書かせる。原稿用紙の使い方を学ばせる。			【知識・技能】 ・書き言葉の特質や役割、表現の特色をふまえて、正確さ、わかりやすさ、適切さなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解して使っている。〔11イ〕 【思考・判断・表現】 ・文の適切かつ効果的な接続のしかたを理解している。〔11オ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・文を整えたり接続表現を適切に用いたりすることに、意欲的に取り組もうとしている。				8
定期考査								1	
3 わかりやすく説明する ・説明のしかたを伝えよう 「人間はゴリラとチンパンジーのどちらに近いか」 「ナンバーワンか、オンリーワンか」	説明のしかたに注意して文章を読ませる。 順序を表す言葉や接続表現、問題根拠と答えに着目して、文章の構成をつかませる。			【知識・技能】 ・文、文章の効果的な組み立て方や接続のしかたについて理解している。〔11オ〕 【思考・判断・表現】 ・個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。〔2イ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的に学習に取り組む、説明のしかたを伝えようとしている。					8
	3 わかりやすく説明する ・絵や写真をせつめいしよう ・伝えるように話そう	絵や写真などの情報を説明する文章を書かせる。 わかりやすい説明のしかたを工夫して書かせる。			【知識・技能】 ・正確にわかりやすく説明するために適切な語句を選んだり、比喩や例示などの修辞を用いたりしている。〔11イ、エ、カ〕 【思考・判断・表現】 ・わかりやすく説明するために効果的な文の組み立てを理解している。〔11イ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・正確にわかりやすく説明する文章を書くことに意欲をもち、積極的に学習活動に取り組もうとしている。				7
	定期考査							1	
	4 聞く力を育てる ・聞き取りのレッスン ・聞き上手になろう	大切なことを落とさずに、正確に聞かせる。 自分にとって必要な情報を意識して、メモを取りながら聞かせる。 必要な情報を相手から引き出せるよう、質問しながら聞かせる。 話の展開に注意し、話を広げたり深めたりしながら聞かせる。			【知識・技能】 ・話し言葉の特質や表現の特色をふまえて、正確に聞き取っている。〔11イ〕 【思考・判断・表現】 ・「話すこと・聞くこと」において、必要な情報を意識しながら聞き、情報を適切に整理している。〔A11エ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・「聞くこと」の大切さを理解し、聞き取りの学習活動に積極的に取り組もうとしている。				6
5 論理を読み取る ・論理の展開を読み取ろう 「商品と贈り物の違い」 「水の東西」 「人間とAI—創造力の源泉」	主語と根拠、具体と抽象、対比に着目することで、論理展開をとらえさせる。 論理的な文章の要旨を的確に読み取らせる。			【知識・技能】 ・主張と根拠など情報と情報との関係について理解している。〔2ア〕 ・個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。〔2イ〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述をもとに的確にとらえ、要旨や要点を把握している。〔11ア〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的に学習に取り組む、主張とその根拠、具体と抽象の関係を伝えようとしている。				7	
定期考査							1		
6 伝え合いのレッスン ・対話のレッスン ・話し合って結論を出そう	相手や場面に配慮した言葉遣いや表現のしかたを理解させる。 コミュニケーションにおける言葉以外の要素の大切さを知り、対話に生かさせる。			【知識・技能】 ・話し言葉の特色をふまえて、相手や場面に配慮した言葉遣いや表現のしかたを理解し、使っている。〔11イ〕 【思考・判断・表現】 ・「話すこと・聞くこと」において、相手や場面に配慮し、言葉以外の要素も意識しながら、話の内容や表現のしかたを工夫している。〔A11ア、ウ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・対話の力やコミュニケーション力を高めることに意欲をもち、意欲的に学習活動に取り組もうとしている。					5
	7 説得力を高める ・意見文の基礎を学ぼう ・反対意見を想定した意見文を書こう	意見文の基本的な書き方と、構成のしかたを理解させる。 意見と理由を備えた基本的な意見文を書かせる。 反対意見を想定しつつ、自分の意見を説得力のある意見文にまとめる。			【知識・技能】 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続のしかたについて理解している。〔11オ〕 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、読み手の理解が得られるよう、意見と理由（根拠）の関係を考え、文章の構成や展開を工夫している。〔B11イ〕 ・「書くこと」において、掲載の観点や読者の立場を踏まえて、自分が書いた文章を見直し、文章全体を改めて改善したりしている。〔B11エ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・意見文を書くことに興味をもち、意見文の基礎を意欲的に習得しようとしている。				6
	8 情報と向き合う ・情報を吟味 「情報の力関係」 「どこもかしこもプラスチック！」	視点や根拠に注意し、情報を吟味しながら読ませる。 図表などから必要な情報を読み取らせる。 図との関係に注意しながら、文章を読み取らせる。 文字・図形・絵などが読者に与える効果の違いについて考えさせる。			【知識・技能】 ・主張と根拠など情報と情報との関係について理解している。〔2ア〕 ・情報の信頼性や信頼性の吟味のしかたについて理解を深めている。〔2エ〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係づけながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や展開などについて評価したりし、自分の考えを深めている。〔C11イ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・視点や根拠に注意し、図表などから必要な情報を意欲的に読み取ろうとしている。				8
	定期考査							1	
合計								78	

- 【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。
- 【学びに向かう力、人間性等】 言葉の持つ価値への認識を深め言語感覚を磨き、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付け、我が国の言語文化に対する理解を深めるようにする。	創造的に考える力を養い、伝え合う力を高め、考えを届けたり深めたりすることができるようにする。	言葉への認識を深め、読書に親しみ、言葉を通じて他者や社会に関わろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数	
		語	書	読						
1 1学期	1 明日をひらく 「遠くを見上げて」 「少なくとも最後まで歩かなかった」 「そとみななかみ」	・筆者の考えを読み取り、「現代の国語」の学習に対する意欲を持たせる。 ・筆者が大切だと考えていることを読み取り、理解する。 ・筆者の考えと比較しながら、自分の生き方について考えを深める。	○			【知識・技能】 ・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。〔(1)ア〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。〔B(1)ア〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・筆者の考えと比較しながら、自分の生き方について考えを深めようとしている。	○	○	○	6
	1 明日をひらく ・言葉でスケッチ	・写真やイラストに合ったおもしろい言葉を考える。 ・読み手の共感が得られるような言葉や表現を工夫して書く。		○		【知識・技能】 ・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。〔(1)ア〕 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、文学的な文章を書くために、選んだ題材に応じて情報を収集、整理して、表現したいことを明確にしている。〔A(1)ア〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・読み手の共感が得られるような言葉や表現を工夫して書くようとしている。	○	○	○	5
	定期考査						○	○		1
	2 小説を楽しむ 「ナイン」 「晴れた空の下で」	・場面の設定の仕方を通して登場人物の心情を考える。 ・情景描写の効果を考えながら読む。	○			【知識・技能】 ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを、語感を磨き言葉の豊かにしている。〔(1)イ〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について詳細することを通して、内容を解釈している。〔B(1)イ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・文学作品の描写や会話、特徴のある表現に興味をもち、登場人物の人間関係や心理を読み取ろうとしている。	○	○	○	7
	古典の世界1 「星取り」 「児の胎食ひたること」	・話のおもしろさをとらえる。	○			【知識・技能】 ・文学的な文章を読むことを通じて、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。〔(2)ア〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。〔B(1)ア〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・笑話を読み、オチにつながる展開を的確に捉える中で、そのおもしろさについて考え、自らの学習を調整しようとしている。	○	○	○	8
定期考査						○	○		1	
2 2学期	3 詩を味わう 「道程」 「小景異情」 「永訣の朝」 「コスモス」	・詩に表された作者の心情を読み味わう。 ・詩のさまざまな表現と、その効果について考える。	○			【知識・技能】 ・文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めている。〔(1)ウ〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察している。〔B(1)ウ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・詩を読むことに興味をもち、その形式や表現の特徴を意識しながら、情景や心情を味わおうとしている。	○	○	○	8
	4 名作を読む 「山月記」	・登場人物の生き方から、自分自身の生き方に関する考えを深める。 ・漢文訓読調の文章の魅力を楽しむ。	○			【知識・技能】 ・文学的な文章を読むことを通じて、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。〔(2)ア〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、他の作品と比較するなどして、文体の特徴や効果について考察している。〔B(1)ウ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・作品に興味をもち、小説の文体や登場人物の心情について理解を深めようとしている。	○	○	○	7
	定期考査						○	○		1
	古典の世界2 「かぐや姫の昇天」 「月やあらぬ」	・かぐや姫の心情とその変化を読み取る。	○			【知識・技能】 ・文学的な文章を読むことを通じて、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。〔(2)ア〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。〔B(1)ア〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・作品に興味をもち、登場人物の心情を読み取ろうとしている。	○	○	○	7
	5 社会に生きる 「神去なあな日常」 「靴」	・登場人物の描写から人物像をとらえ、場面ごとの心情を読み取る。	○			【知識・技能】 ・人間、社会、自然などに対するもの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。〔(2)イ〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について詳細することを通して、内容を解釈している。〔B(1)イ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・作品の特徴ある表現に興味をもち、仕事や自然に対する描写を読み取ろうとしている。	○	○	○	6
定期考査						○	○		1	
3 3学期	6 表現を味わう 「身内ほど厄介なものはない」 「柿」	・さまざまな文章を読み、構成や表現の工夫を読み取る。		○		【知識・技能】 ・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。〔(1)ア〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。〔B(1)ア〕 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するもの見方、感じ方、考え方を深めている。〔B(1)カ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・選んで本文の内容を解釈し、自分とは異なる文化をもつ人とコミュニケーションをとるに当たり、どのような配慮が必要か考えようとしている。	○	○	○	5
	6 表現を味わう ① 思いを言葉に ② エッセイを書こう ③ 手紙を書こう	・不特定の読み手を想定し、自分の思いを表現したエッセイを書く。 ・既存の作品も参考にしながら、構成や表現を工夫して書く。		○		【知識・技能】 ・文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めている。〔(1)ウ〕 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、読み手の関心が得られるよう、文章の構成や展開を工夫している。〔A(1)イ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・読み手を想定して、相手に応じた内容や構成、表現を工夫しながら書くようとしている。	○	○	○	6
	古典の世界3 「はしたなきもの」	・作品に表れている作者の感性をとらえる。	○			【知識・技能】 ・文学的な文章を読むことを通じて、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。〔(2)ア〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。〔B(1)ア〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・作品に興味をもち、自分と比較しながら作者の感性を捉えようとしている。	○	○	○	8
	定期考査						○	○		1
									合計	
									78	





高等学校 令和8年度（2学年用）教科 地理歴史 科目 地理総合

教科：地理歴史

科目：地理総合

単位数：2 単位

対象学年組：第 2 学年

教科担当者：中橋 健

使用教科書：（高校生の地理総合（帝国書院）、基本地図帳（二宮書店））

教科 地理歴史 の目標：

【知識及び技能】現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野を課題に主体的に解決しようとする態度を養う。

科目 地理総合 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取り組みなどを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付け	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	地理や歴史に関わる諸事情について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に他に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについて自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	地図や地理情報システムでとらえる現代社会 【知識及び技能】 地図の読み方や時差、地図や地理情報システム(GIS)を用いる基礎的な知識を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 状況に応じて地図やGISを用いる方法を自分なりに考えられるようになる。	地図や地理情報システムでとらえる現代社会	【知識・技能】 ・知識について節ごとに問題演習にて確認する。 【思考・判断・表現】 ・地球儀と地図や、紙の地図とデータの地図のメリットとデメリットを説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・演習問題や説明に主体的に取り組んでいる。	○	○	○	6
	結びつきを深める現代世界 【知識及び技能】 地図情報システムや、そこから派生する技術の用いられ方を理解する。 【思考力、判断力、表現力】 特定の課題について、地図情報システムの活用方法を多面的・多角的に思考できる。	結びつきを深める現代世界	【知識・技能】 ・知識について節ごとに問題演習にて確認する。 【思考・判断・表現】 ・状況に応じて最適な地図システム・地図の形式を選ぶことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・演習問題や説明に主体的に取り組んでいる。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
	生活文化の多様性と国際理解 【知識及び技能】 世界の人々の特色ある生活文化を基に、その多様性や地理的要因を理解する。 【思考力、判断力、表現力】 自他の文化を尊重し、国際理解をはかることの重要性を説明できる。	生活文化の多様性と国際理解	【知識・技能】 ・知識について節ごとに問題演習にて確認する。 【思考・判断・表現】 ・多様性の尊重が大切な理由を思考し、自分の言葉で表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・演習問題や説明に主体的に取り組んでいる。	○	○	○	8
	多様な生活文化と地理的環境 【知識及び技能】 東アジアの経済発展と生活文化の変化について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 経済発展と生活文化の変容の関連性を説明できる。 【学びに向かう力、人間性等】 国々のことを理解し受容する態度を養う。	多様な生活文化と地理的環境	【知識・技能】 ・中国や朝鮮半島について、学習した知識について問題演習にて確認する。 【思考・判断・表現】 ・国や地域の尊重が大切な理由を思考し、自分の言葉で表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・演習問題や説明に主体的に取り組んでいる。	○	○	○	4
	定期考査			○	○		1
2 学期	多様な生活文化と地理的環境 【知識及び技能】 東南アジアの生活における様々な地域との関わりについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 人々の交わりが文化に与える影響を説明できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 国々のことを理解し受容する態度を養う。	多様な生活文化と地理的環境（東南アジア）	【知識・技能】 ・東南アジアについて、学習した知識について問題演習にて確認する。 【思考・判断・表現】 ・国や地域の尊重が大切な理由を思考し、自分の言葉で表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・演習問題や説明に主体的に取り組んでいる。	○	○	○	4
	多様な生活文化と地理的環境 【知識及び技能】 ヒンドゥー教の宗教圏について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 宗教が文化に与える影響を説明できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 宗教やそれともなう生活文化の理解を通じて、国々のことを理解し受容する態度を養う。	多様な生活文化と地理的環境（ヒンドゥー教の生活圏）	【知識・技能】 ・ヒンドゥー教の宗教圏について、学習した知識について問題演習にて確認する。 【思考・判断・表現】 ・国や地域の尊重が大切な理由を思考し、自分の言葉で表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・演習問題や説明に主体的に取り組んでいる。	○	○	○	4
	多様な生活文化と地理的環境 【知識及び技能】 アジア・北アフリカの地域における宗教・気候・経済の関連性を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 宗教・気候・経済が与える影響を説明できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 国々のことを理解し受容する態度を養う。	多様な生活文化と地理的環境（アジア・北アフリカ）	【知識・技能】 ・中央アジア、西アジア、北アフリカについて、学習した知識について問題演習にて確認する。 【思考・判断・表現】 ・国や地域の尊重が大切な理由を思考し、自分の言葉で表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・演習問題や説明に主体的に取り組んでいる。	○	○	○	4
	多様な生活文化と地理的環境 【知識及び技能】 中央アフリカ・南アフリカの様々な地域について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 経済などが地域に与える影響を説明できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 国々のことを理解し受容する態度を養う。	多様な生活文化と地理的環境（中央アフリカ・南アフリカ）	【知識・技能】 ・中央アフリカ、南アフリカについて、学習した知識について問題演習にて確認する。 【思考・判断・表現】 ・国や地域の尊重が大切な理由を思考し、自分の言葉で表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・演習問題や説明に主体的に取り組んでいる。	○	○	○	4
	定期考査			○	○		1



高等学校 令和8年度(3学年用) 教科 地理歴史 科目 歴史総合

教科: 地理歴史 科目: 歴史総合 単位数: 2 単位

対象学年組: 第 3 学年

教科担当者: 中橋 健

使用教科書: ( 高等学校 改訂版 歴史総合(第一学習社) )

教科 地理歴史 の目標:

【知識及び技能】現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解する。

【思考力、判断力、表現力等】考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題に主体的に解決しようとする態度を養う。

科目 歴史総合 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とそれの中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力を養う。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察により、文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	結びつく世界と日本の開国(1) 【知識及び技能】 諸資料を活用する技能を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 人々の生活や社会が変化したことを考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 自発的・自立的な態度で課題の設定から解決に臨む。	結びつく世界と日本の開国(結びつく世界)	【知識・技能】 ・知識及び技能について節ごとに問題演習にて確認する。 【思考・判断・表現】 ・18世紀の東アジアと世界各地のつながりについて、国同士の貿易関係をもとに説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・演習問題や説明に主体的に取り組んでいる	○	○	○	7
	結びつく世界と日本の開国(2) 【知識及び技能】 諸資料を活用して情報を読み取る技能を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 人々の生活や社会が変化したことを考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 自発的・自立的な態度で課題の設定から解決に臨む。	結びつく世界と日本の開国(日本の開国)	【知識・技能】 ・知識及び技能について節ごとに問題演習にて確認する。 【思考・判断・表現】 ・イギリスで始まった産業革命が、資本主義の進展や世界各地に与えた影響を説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・演習問題や説明に主体的に取り組んでいる	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
	国民国家と明治維新(1) 【知識及び技能】 欧米の市民革命や国民統合の動向、立憲体制と国民国家の形成を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 アジア諸国と国民国家の特徴や社会の変容などを考察し、表現すること。 【学びに向かう力、人間性等】 自発的・自立的な態度で課題の設定から解決に臨む。	国民国家と明治維新(国民国家の形成)	【知識・技能】 ・知識及び技能について節ごとに問題演習にて確認する。 【思考・判断・表現】 ・様々な革命によって、社会や国家が変容した結果が、人々の生活に与えた影響を説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・演習問題や説明に主体的に取り組んでいる	○	○	○	7
	国民国家と明治維新(2) 【知識及び技能】 植民地の形成、日清・日露戦争などを基に、帝国主義政策とアジア諸国の変容を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 帝国主義政策の特徴、列強間の関係の変容などを考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 自発的・自立的な態度で課題の設定から解決に臨む。	国民国家と明治維新(明治維新)	【知識・技能】 ・知識及び技能について節ごとに問題演習にて確認する。 【思考・判断・表現】 ・帝国主義にもつき列強各国が勢力拡大をねらった結果を、アジア諸国で発生した事態をつづけて説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・演習問題や説明に主体的に取り組んでいる	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1



高等学校 令和8年度（4学年用） 教科 公民 科目 政治・経済

教科：公民 科目：政治・経済 単位数：3 単位

対象学年組：第4学年

教科担当者：中橋 健

使用教科書：（政治・経済（東京書籍））

教科 公民 の目標：

- 【知識及び技能】選択・判断の手掛かりとなる概念や理論及び倫理、政治、経済などに関わる現代の諸課題について理解する。
- 【思考力、判断力、表現力等】現代の諸課題について、事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察できる。
- 【学びに向かう力、人間性等】よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養う。

科目 政治・経済 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料をもとに社会の主体として活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	現実社会の諸課題の解決に向けて、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。	よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚をもつ。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	現代日本の政治 【知識及び技能】 日本の政治機構について基礎的な知識を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 民主主義の必要性を説明することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 資料に基づいて自身の考えを表明できるような学びに向かう力を育てる。	現代日本の政治	【知識・技能】 ・学習した知識について問題演習にて確認する。 【思考・判断・表現力】 ・問題の解決には何が必要なのかを自分の言葉で表現できる。 【主体的に取り組む態度】 ・問題演習や説明に主体的に取り組んでいる。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
	現代日本の経済 【知識及び技能】 経済活動の基本的な仕組みについて基礎的な知識を取得する。 【思考力、判断力、表現力等】 経済と実生活はどのように関わっているのかを説明できるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 ニュースを主体的に読むことができる。	現代日本の経済	【知識・技能】 ・学習した知識について問題演習にて確認する。 【思考・判断・表現力】 ・問題の解決には何が必要なのかを自分の言葉で表現できる。 【主体的に取り組む態度】 ・問題演習や説明に主体的に取り組んでいる。	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
2 学 期	現代日本の経済の課題 【知識及び技能】 日本で発生している社会問題の原因と対策を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 社会の発達と問題点などを自分の言葉で表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の生活と合わせて捉えて、主体的に学習する。	現代日本の経済の課題	【知識・技能】 ・学習した知識について問題演習にて確認する。 【思考・判断・表現力】 ・問題の解決には何が必要なのかを自分の言葉で表現できる。 【主体的に取り組む態度】 ・問題演習や説明に主体的に取り組んでいる。	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
	現代の国際政治 【知識及び技能】 国際政治の基礎的な知識や、国際法の基本理念を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 現代の国際政治が目指していることを説明できる。 【学びに向かう力、人間性等】 資料に基づいて自身の考えを表明できるような学びに向かう力を育てる。	現代の国際政治	【知識・技能】 ・学習した知識について問題演習にて確認する。 【思考・判断・表現力】 ・問題の解決には何が必要なのかを自分の言葉で表現できる。 【主体的に取り組む態度】 ・問題演習や説明に主体的に取り組んでいる。	○	○	○	21
	定期考査			○	○		1
3 学 期	現代の国際政治と日本 【知識及び技能】 国際社会での日本の役割を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 日本が国際社会で果たす役割について説明することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 資料に基づいて自身の考えを表明できるような学びに向かう力を育てる。	現代の国際政治と日本	【知識・技能】 ・学習した知識について問題演習にて確認する。 【思考・判断・表現力】 ・問題の解決には何が必要なのかを自分の言葉で表現できる。 【主体的に取り組む態度】 ・問題演習や説明に主体的に取り組んでいる。	○	○	○	22
	定期考査			○	○		1
	国民経済と国際経済 【知識及び技能】 貿易を通じて他国の人々と共生するために必要な知識を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 新聞などから貿易関係のニュースを取り出して、内容を説明できる。 【学びに向かう力、人間性等】 資料に基づいて自身の考えを表明できるような学びに向かう力を育てる。	国民経済と国際経済	【知識・技能】 ・学習した知識について問題演習にて確認する。 【思考・判断・表現力】 ・問題の解決には何が必要なのかを自分の言葉で表現できる。 【主体的に取り組む態度】 ・問題演習や説明に主体的に取り組んでいる。	○	○	○	18
	定期考査			○	○		1
3 学 期	世界経済の現状と課題 【知識及び技能】 グローバル化と同時に進行している問題を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 問題のどれかに対して自分なりの解決策を提案する。 【学びに向かう力、人間性等】 資料に基づいて自身の考えを表明できるような学びに向かう力を育てる。	世界経済の現状と課題	【知識・技能】 ・学習した知識について問題演習にて確認する。 【思考・判断・表現力】 ・問題の解決には何が必要なのかを自分の言葉で表現できる。 【主体的に取り組む態度】 ・問題演習や説明に主体的に取り組んでいる。	○	○	○	11
	定期考査			○	○		1
							合計
							117



高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 数学 科目 数学I

教科：数学

数学I

単位数：2

単位

対象学年組：第 2 学年

教科担当者：松本 悠希

使用教科書：（教研出版 新 高校の数学I）

科目 数学I

の目標： 図形と計量、データの分析について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を回り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを理解できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
図形と計量、データの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。	命題の条件や結論に着目し、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力。社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度。粘り強く考え数学的論理に基づいて判断しようとする態度。問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価基準	知	思	態	配当 時数	
1 学期	三角比の意味やその基本的な性質について理解し、三角比の相互関係などを理解できるようにする。また、日常の事象や社会の事象などを数学的にとらえ、三角比を活用して問題を解決する力を培う。	第3章 図形と計量 直角三角形 三角比	【知】 直角三角形において、三平方の定理を利用して、辺の長さを求めることができる。	○			2
		第3章 図形と計量 三角比	【知】 三角比は、直角三角形の辺の比であることを理解している。直角三角形において、正弦・余弦・正接を求めることができる三角比の表を利用して、三角比の値や角を調べることができる。 【思】 三角比が三角形の大きさだけでなく、鋭角のみに依存していることを、三角形の相似から考察することができる。	○	○		4
		第3章 図形と計量 三角比の利用	【知】 三角比を利用して、直角三角形の辺の長さを求めることができる。三角比を利用して、直角三角形の角の大きさやその他の長さを求めることができる。 【思】 測量の問題に三角比を活用することができる。 【態】 直接測ることのできない距離を求めることに興味をもつ。	○	○	○	6
	三角比の意味やその基本的な性質について理解し、三角比の相互関係などを理解できるようにする。また、日常の事象や社会の事象などを数学的にとらえ、三角比を活用して問題を解決する力を培う。	第3章 図形と計量 三角比の相互関係	【知】 $\sin A = \cos(90^\circ - A)$ などの公式を利用することができる。三角比の相互関係を利用して、三角比の1つの値から残りの2つの値を求めることができる。 【思】 $\sin^2 A + \cos^2 A = 1$ を三平方の定理としてとらえることができる。 【態】 三角比の相互関係を調べようとする。	○	○	○	6
		第3章 図形と計量 鈍角の三角比	【知】 鈍角の三角比の値を求めることができる。 $\sin \theta = \sin(180^\circ - \theta)$ などの公式を利用することができる。鈍角の場合についても、三角比の相互関係を利用して、三角比の1つの値から残りの2つの値を求めることができる。 【思】 拡張された三角比を、座標平面上に図示して考察することができる。 【態】 鋭角の場合と異なり、鈍角の三角比が座標を利用して定義される理由に関心をもち、考察しようとする。	○	○	○	5
	考查前演習			○	○		1
	定期考査		○	○		1	
2 学期	図形の構成要素間の関係を、三角比を用いて表現し定理や公式を導く力。日常の事象や社会の事象などを数学的にとらえ、正弦定理、余弦定理などを活用して問題を解決する力を培う。	第3章 図形と計量 正弦定理	【知】 正弦定理におけるA-B-Cの形の式を適切に処理することができる。正弦定理を利用して、三角形の辺の長さや外接円の半径を求めることができる。 【思】 三角形の頂点から対辺に下ろした垂線の長さを、三角比を用いて表現し、正弦定理を導くことができる。測量の問題に正弦定理を活用することができる。 【態】 正弦定理の図形的な意味を考察しようとする。	○	○	○	6
		第3章 図形と計量 余弦定理	【知】 余弦定理を利用して、三角形の辺の長さや角の大きさを求めることができる。 【思】 三角形の各辺を1辺とする正方形の面積を、三角比を用いて表現し、余弦定理を導くことができる。測量の問題に余弦定理を活用することができる。空間図形から適当な三角形を取り出して考察することができる。 【態】 余弦定理の図形的な意味を考察しようとする。	○	○	○	7
		第3章 図形と計量 三角形の面積	【知】 2辺の長さとその間の角の大きさが与えられた三角形の面積を求めることができる。 【態】 三角比と三角形の面積の関係に関心をもち、公式を導こうとする。	○	○		2
	定期考査			○	○		1
	集合と命題に関する基本的な概念を理解し、それを事象の考察に活用できるようにする。	第4章 集合と命題 集合	【知】 集合を、要素を書き並べて表すことができる。共通部分、和集合、空集合について理解している。2つの集合の包含関係を判定することができる。全体集合、補集合について理解している。 【思】 集合に関する記号を、適切に用いることができる。ベン図などを用いて、集合を視覚的に表現して考察することができる。 【態】 集合について、それぞれの特徴や関係に合った表現方法を考察しようとする。	○	○	○	6
		第4章 集合と命題 命題と集合	【知】 命題の意味を理解している。集合の包含関係や反例を調べるなどして、命題の真偽を判定することができる。否定の意味及び否定を表す記号を理解している。 【思】 命題の真偽を、集合の包含関係に結び付けてとらえることによって考察することができる。命題が偽であることを示すには、反例を1つあげればよいことが理解できている。 【態】 条件を満たすものの集合の包含関係が、命題の真偽に関連していることに着目し、命題について調べようとする態度がある。	○	○	○	5
	第4章 集合と命題 必要条件と十分条件	【知】 十分条件、必要条件及び必要十分条件の意味を理解している。逆、対偶の意味を理解し、命題の逆、対偶を作ることができる。真である命題の逆は、真であるとは限らないことを理解している。対偶の真偽はもと命題の真偽と一致することを理解している。 【思】 対偶の利用や背理法の利用を適切に判断して、命題を証明することができる。 【態】 直接証明法では難しい命題も、対偶や背理法を利用すれば証明できることに興味をもち、証明法を習得しようとする。	○	○	○	5	
考查前演習			○	○		1	
	定期考査		○	○		1	
3 学期	データの散らばり具合や傾向を数値化する方法を考察する力。目的に応じて複数の種類のデータを収集し、適切な統計量やグラフ、手法などを選択して分析を行い、データの傾向を把握して事象の特徴を表現する力。不確実な事象の起こりやすさに着目し、主張の妥当性について、実験などを通して判断したり、批判的に考察したりする力などを養う。	第5章 データの分析 データの整理	【知】 階級、度数などの用語を理解し、データを度数分布表にまとめ、ヒストグラムをかくことができる。データを度数分布表やヒストグラムに表すことのよさを理解している。 【思】 データを整理して全体の傾向を考察しようとする。	○		○	2
		第5章 データの分析 データの代表値	【知】 最頻値、中央値、平均値の定義や意味を理解し、それらを求めることができる。 【思】 どの代表値を用いるのが適切なかが場面によって変わってくることを理解している。 【態】 データの代表値から、その特性や傾向などを考察しようとする。	○	○	○	4
		第5章 データの分析 データの散らばり	【知】 四分位数の定義を理解し、四分位数を求めることができる。四分位範囲、四分位偏差の定義やその意味を理解し、それらを求めることができる。箱ひげ図をかくことができる外れ値について理解している。分散、標準偏差の定義とその意味を理解し、分散、標準偏差を求めることができる。 【思】 四分位範囲や箱ひげ図をもとに、中央値の周りのデータの散らばり具合を比較することができる。標準偏差をもとに、平均値の周りのデータの散らばり具合を比較することができる。 【態】 データの散らばりの度合いをどのように数値化するかを考察しようとする。	○	○	○	4
		第5章 データの分析 データの相関	【知】 散布図を作成することができる。相関係数の定義とその意味を理解し、相関係数を計算することができる。相関係数と散布図の関連を理解している。 【思】 散布図をもとに、データの相関を考察することができる。相関係数の数値からデータの相関を考察することができる。 【態】 相関係数と散布図の関連に関心をもち、考察しようとする。	○	○	○	5
		第5章 データの分析 仮説検定の考え方	【知】 仮説検定の考え方を理解している。 【思】 仮説検定の考え方を活用して、ある事柄が正しいかどうかを判断することができる。 【態】 身近な事柄において、仮説検定の考え方を活用して判断しようとする態度がある。	○	○	○	2
	考查前演習			○	○		1
	定期考査		○	○		1	
			○	○		合計 78	

教科: 数学

数学Ⅱ

単位数:

2 単位

対象学年組: 第 3 学年

教科担当者: 松本 悠希

使用教科書: (数研出版 新 高校の数学Ⅱ)

科目 数学Ⅱ の目標:

いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについて理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力、座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり、図形の性質を論理的に考察したりする力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力、関数の局所的な変化に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価基準	知	思	態	配当 時数	
1 学期	多項式の乗法・除法及び分数式の四則計算について理解できるようにする。	第1章 式の計算 式の展開と因数分解	【知】展開の公式と因数分解の公式を利用できる。	○			3
	数の範囲を複素数まで拡張する意義を理解し、複素数の計算ができるようにする。また、複素数を用いて、2次方程式やその解についてより一般的に考察できるようにする。	第1章 式の計算 分数式の計算	【知】分数式の約分、乗法・除法、加法・減法の計算ができる。 【思】分数式の計算について、分数の計算と同じように考察することができる。	○	○		6
		第1章 式の計算 複素数	【知】負の数の平方根を理解し、 $i$ を用いて処理することができる。複素数の加法、減法、乗法の計算ができる。 【思】複素数の表記を理解し、複素数 $a+0i$ を実数 $a$ と同一視できる。 【態】数の範囲を実数から複素数へ拡張することについて、有理数から実数に拡張したことに関連させ、考察しようとする。	○	○	○	5
	多項式のわり算	第1章 式の計算 多項式のわり算	【知】多項式の割り算の計算方法を理解し、計算することができる。 【思】多項式の割り算の結果を等式で表して考察することができる。	○	○		5
		第1章 式の計算 等式の証明	【知】与えられた条件式を用いて文字を消去し、等式を証明することができる。 【思】与えられた条件式の適切な利用方法を考え、等式を証明することができる。 【態】数学における証明の意義を理解し、等式の証明に意欲的に取り組もうとする。				5
考査前演習						1	
	定期考査		○	○		1	
2 学期	標や式を用いて、直線の性質や関係を数学的に表現し、その有用性を認識するとともに、事象の考察に活用できるようにする。	第2章 図形と方程式 直線上の点	【知】数直線上において、2点間の距離を求めることができる。線分の内分点、外分点の意味を理解し、数直線上に内分点、外分点の位置を表すことができる。数直線上において、線分の内分点、外分点の座標を求めることができる。 【思】線分の外分点の公式を、内分点と統一して捉えようとする。	○	○		2
	標や式を用いて、直線の性質や関係を数学的に表現し、その有用性を認識するとともに、事象の考察に活用できるようにする。	第2章 図形と方程式 平面上の点	【知】座標平面上において、2点間の距離の公式を理解し、距離が求められる。座標平面上において、線分の内分点、外分点の座標を求めることができる。三角形の重心の座標の公式を理解し、重心の座標を求めることができる。 【思】三角形の重心の座標の公式を導く際に、重心の性質を適切に利用できる。 【態】数直線上の点に関する公式を利用して、平面上の場合を考察しようとする。	○	○	○	5
		第2章 図形と方程式 直線の方程式	【知】 $x$ 、 $y$ の1次方程式が表す直線をかくことができる。通る1点と傾きがわかっている直線の方程式を求めることができる。通る2点がわかっている直線の方程式を求めることができる。 【思】通る2点がわかっている直線の方程式を、通る1点と傾きがわかっている直線の方程式を利用して考察できる。	○	○		5
	座標や式を用いて、円の性質や関係を数学的に表現し、それらの有用性を認識する。また、図形を、与えられた条件を満たす点の集合として認識するとともに、不等式を満たす点の集合が座標平面上の領域を表すことを理解し、事象の考察に活用できるようにする。	第2章 図形と方程式 2直線の関係	【知】2直線の交点の座標を、連立方程式を解いて求めることができる。2直線の平行条件を理解して、それを利用できる。2直線の垂直条件を理解して、それを利用できる。 【態】2直線の平行・垂直の関係を、傾きに注目して考察しようとする。	○		○	5
		定期考査		○	○		1
	第2章 図形と方程式 円の方程式	【知】中心の座標と半径から円の方程式を求めることができる。また、円の方程式から中心の座標と半径を求め、円をかくことができる。直径の両端の座標から円の方程式を求めることができる。 $x$ 、 $y$ の2次方程式を変形して、その方程式が表す図形を調べることができる。 円上の点と中心との距離が一定であることに着目し、円の方程式について考察することができる。 【態】 $x$ 、 $y$ の2次方程式が表す図形に興味・関心をもつ。	○		○	8	
	第2章 図形と方程式 不等式と領域	【知】直線を境界線とする領域を図示することができる。円を境界線とする領域を図示することができる。連立不等式の表す領域を図示することができる。 【思】不等式を満たす $x$ 、 $y$ の組を、座標平面上の点の集合としてみる可以尝试。	○	○		7	
	定期考査		○	○		1	
3 学期	角の概念を一般角まで拡張して、三角関数に関する様々な性質や式とグラフの関係について多面的に考察できるようにする。	第3章 三角関数 一般角	【知】一般角を表す動径を図示したり、動径を表す角を $\alpha+360^\circ \times n$ と表したりすることができる。 【思】一般角を動径とともに考察することができる。	○	○		2
	三角関数の性質	第3章 三角関数 三角関数の相互関係 三角関数の性質	【知】三角関数の相互関係を理解し、それを利用して、1つの値から残りの2つの値を求めることができる。 【思】三角関数の性質を、単位円周上の点の座標によって考察することができる。 【態】三角関数の性質を利用すれば、どんな角でも三角関数表を利用して値を求められることに興味をもち、いろいろな値を調べようとする。	○	○	○	5
		第3章 三角関数 三角関数のグラフ	【知】 $y=\sin \theta$ 、 $y=\cos \theta$ 、 $y=\tan \theta$ の周期とグラフの形の関係に注意して、正しいグラフがかけられる。 【思】単位円周上の点の動きから、三角関数のグラフを考察することができる。	○	○		4
	加法定理、いろいろな公式	第3章 三角関数 加法定理、いろいろな公式	【知】加法定理、2倍角の公式を利用して、三角関数の値を求めることができる。 【思】 $45^\circ+30^\circ$ の具体的な値で加法定理の式が成り立つことを、図形的に考察することができる。 【態】加法定理から、2倍角の公式を導こうとする。	○	○	○	4
		第3章 三角関数 弧度法	【知】弧度法の定義を理解し、度数法と弧度法の換算ができる。扇形の弧の長ささと面積の公式を理解している。 【思】弧度法を、弧の長さで角を測る方法として理解し、考察することができる。 【態】新しい角の測り方である弧度法に興味をもち、角度の換算に取り組もうとする。	○	○	○	1
考査前演習			○	○		1	
	定期考査		○	○		1	
			○	○		合計 78	





2 学 期	3章1節 ヒトの生命現象 ・ヒトの生命現象について、眼の構造、健康管理、DNAと関連付けて理解する【知識及び技能】 ・ヒトの生命現象に関する観察、実験などを行い、人間生活と関連付けて科学的に探究する力を養う。【思考力、判断力、表現力等】 ・ヒトの生命活動に関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。【学びに向かう力、人間性等】	・指導項目 1. 私たちの生活環境と眼 2. ヒトの生命活動と健康の維持 3. ヒトの生命現象とDNA ・教材 教科書、ワーク、プリント 等 ・一人1 台端末の活用 実験結果や調査結果をレポートにまとめる。	・眼の基本的な構造及び眼で受容した光の情報が脳に伝えられて視覚が生じることを理解している。【知識・技能】 ・すい臓から分泌されるホルモンの作用により血糖濃度が調節される仕組みを理解している。【知識・技能】 ・抗体による生体防御の概要を理解している。【知識・技能】 ・遺伝子の情報をもとにタンパク質がつくられること、タンパク質がヒトの生命現象に関与していることを理解している。【知識・技能】 ・盲点や近点を検出する実験を通して、眼の構造を説明することができる。【思考・判断・表現】 ・血糖濃度の調節について、グラフの読み取りを通してホルモンの働きを理解し、糖尿病と関連させて説明することができる。【思考・判断・表現】 ・DNAを模式的に示した図から、DNAの構造の特徴を読み取り、表現することができる。【思考・判断・表現】 ・ヒトの生命現象について、興味・関心をもって意欲的に学習し、健康の維持について科学的な観点から理解しようとする。【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	6
	4章2節 光の性質とその利用 ・光の基本的な性質や人間生活との関わりについての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。【知識及び技能】 ・光に関する観察、実験などを行い、人間生活と関連付けて科学的に探究する力を養う。【思考力、判断力、表現力等】 ・光に関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。【学びに向かう力、人間性等】	・指導項目 1. 光 2. 電磁波の利用 ・教材 教科書、ワーク、プリント 等 ・一人1 台端末の活用 実験結果や調査結果をレポートにまとめる。	・光が波であることを、回折や干渉など波の性質を持つことから理解し、身の回りの現象として見出せる。【知識及び技能】 ・電磁波が波長によって分類でき、光もその一つであること、電磁波が日常生活で利用されていることを理解できる。【知識及び技能】 ・身の回りに光の現象を見出し、波の性質を使いそれらを科学的に分析して、総合的に判断するとともに、それを表現することができる。【思考力、判断力、表現力等】 ・スペクトルなどによる電磁波の分類に関する観察・実験の方法・技能を習得し、結果や考察を的確に表現できる。【思考力、判断力、表現力等】 ・自然界に見られる光の現象に関心を持ち、意欲的に調べようとする。【学びに向かう力、人間性等】	○	○	○	4
	定期考査			○	○		1
	4章2節 光の性質とその利用 ・光の基本的な性質や人間生活との関わりについての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。【知識及び技能】 ・光に関する観察、実験などを行い、人間生活と関連付けて科学的に探究する力を養う。【思考力、判断力、表現力等】 ・光に関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。【学びに向かう力、人間性等】	・指導項目 1. 光 2. 電磁波の利用 ・教材 教科書、ワーク、プリント 等 ・一人1 台端末の活用 実験結果や調査結果をレポートにまとめる。	・光が波であることを、回折や干渉など波の性質を持つことから理解し、身の回りの現象として見出せる。【知識及び技能】 ・電磁波が波長によって分類でき、光もその一つであること、電磁波が日常生活で利用されていることを理解できる。【知識及び技能】 ・身の回りに光の現象を見出し、波の性質を使いそれらを科学的に分析して、総合的に判断するとともに、それを表現することができる。【思考力、判断力、表現力等】 ・スペクトルなどによる電磁波の分類に関する観察・実験の方法・技能を習得し、結果や考察を的確に表現できる。【思考力、判断力、表現力等】 ・自然界に見られる光の現象に関心を持ち、意欲的に調べようとする。【学びに向かう力、人間性等】	○	○	○	8
	5章2節 身近な自然景観と自然災害 1. 身近な景観のなりたち 2. 地球内部のエネルギー 3. 自然の恵みと自然災害 ・教材 教科書、ワーク、プリント 等 ・一人1 台端末の活用 実験結果や調査結果をレポートにまとめる。	・自然景観の恩恵を理解するとともに、身近な地域に潜在する自然災害のリスクを理解している。【知識及び技能】 ・自然災害の起きる原因や条件を理解し、ハザードマップなどの調査を通して、災害リスクを減らすための方法について総合的に判断し、それを表現することができる。【思考力、判断力、表現力等】 ・身近な自然景観の成因を科学的に分析して、総合的に判断し、それを表現することができる。【思考力、判断力、表現力等】 ・身近な自然景観や自然災害に関心を持ち、意欲的に調べようとする。【学びに向かう力、人間性等】 ・自然景観の成因や自然災害の起きる状況を理解し、災害リスクを減らすための、科学的な見方・考え方を身につけようとする。【学びに向かう力、人間性等】	○	○	○	8	
定期考査			○	○		1	





2 学 期	2編2章 化学結合 ・物質と化学結合について、イオンとイオン結合、分子と共有結合、金属と金属結合のことを理解するとともに、それらの観察・実験などに関する技能を身に付ける。【知識及び技能】 ・物質と化学結合について、観察・実験などを通して探究し、イオンとイオン結合、分子と共有結合、金属と金属結合について見出して表現する。【思考力、判断力、表現力等】 ・物質と化学結合に関する事象・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。【学びに向かう力、人間性等】	・指導項目 1. 分子と共有結合 2. 金属と金属結合  ・教材 教科書、ワーク、プリント 等  ・一人1台端末の活用 実験結果や調査結果をレポートにまとめる。	・物質と化学結合についての実験などを通して、イオンとイオン結合、分子と共有結合、金属と金属結合の基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。【知識・技能】 ・イオンとイオン結合、分子と共有結合、金属と金属結合について、問題を見だし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。【思考・判断・表現】 ・イオンとイオン結合、分子と共有結合、金属と金属結合に関する事象・現象について主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	10
	3編2章 酸と塩基 ・化学反応についての実験などを通して、酸・塩基と中和のことを理解するとともに、それらの観察・実験などに関する技能を身に付ける。【知識及び技能】 ・化学反応について、観察・実験などを通して探究し、酸・塩基と中和を見出して表現する。【思考力、判断力、表現力等】 ・酸・塩基と中和に関する事象・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。【学びに向かう力、人間性等】	・指導項目 1. 酸と塩基 2. 水素イオン濃度とpH  ・教材 教科書、ワーク、プリント 等  ・一人1台端末の活用 実験結果や調査結果をレポートにまとめる。	・化学反応についての実験などを通して、酸・塩基と中和の基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。【知識及び技能】  ・酸・塩基と中和について、問題を見だし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。【思考力、判断力、表現力等】 ・酸・塩基と中和について主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。【主体的に学習に取り組む態度】	○		○	8
	定期考査			○	○		1
	3編2章 酸と塩基 ・化学反応についての実験などを通して、酸・塩基と中和のことを理解するとともに、それらの観察・実験などに関する技能を身に付ける。【知識及び技能】 ・化学反応について、観察・実験などを通して探究し、酸・塩基と中和を見出して表現する。【思考力、判断力、表現力等】 ・酸・塩基と中和に関する事象・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。【学びに向かう力、人間性等】	・指導項目 1. 中和反応と塩の生成 2. 中和滴定  ・教材 教科書、ワーク、プリント 等  ・一人1台端末の活用 実験結果や調査結果をレポートにまとめる。	・化学反応についての実験などを通して、酸・塩基と中和の基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。【知識及び技能】  ・酸・塩基と中和について、問題を見だし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。【思考力、判断力、表現力等】 ・酸・塩基と中和について主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。【学びに向かう力、人間性等】	○	○	○	10
	3編3章 酸化還元反応 ・化学反応についての実験などを通して、酸化と還元のことを理解するとともに、それらの観察・実験などに関する技能を身に付ける。【知識及び技能】 ・化学反応について、観察・実験などを通して探究し、酸化と還元を見出して表現する。【思考力、判断力、表現力等】 ・酸化と還元に関する事象・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。【学びに向かう力、人間性等】	・指導項目 1. 酸化と還元 2. 酸化剤と還元剤  ・教材 教科書、ワーク、プリント 等  ・一人1台端末の活用 実験結果や調査結果をレポートにまとめる。	・化学反応についての実験などを通して、酸化と還元の基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。【知識及び技能】 ・酸化と還元について、問題を見だし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。【思考力、判断力、表現力等】 ・酸化と還元について主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1

3編3章 酸化還元反応	<p>・化学反応についての実験などを通して、酸化と還元のことを理解するとともに、それらの観察・実験などに関する技能を身に付ける。【知識及び技能】</p> <p>・化学反応について、観察・実験などを通して探究し、酸化と還元を見出して表現する。【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>・酸化と還元に関する事象・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。【学びに向かう力、人間性等】</p>	<p>・指導項目</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 金属の酸化還元反応</li> <li>2. 酸化還元反応の応用</li> </ol> <p>・教材 教科書、ワーク、プリント 等</p> <p>・一人1台端末の活用 実験結果や調査結果をレポートにまとめる。</p>	<p>・化学反応についての実験などを通して、酸化と還元の基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。【知識及び技能】</p> <p>・酸化と還元について、問題を見だし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>・酸化と還元について主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。【主体的に学習に取り組む態度】</p>	○	○	○	12
3編1章 物質と化学反応式	<p>・物質と化学反応式についての実験などを通して、物質、化学反応式のことを理解するとともに、それらの観察・実験などに関する技能を身に付ける。【知識及び技能】</p> <p>・物質と化学反応式について、観察・実験などを通して探究し、物質、化学反応式を見出して表現する。【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>・物質、化学反応式に関する事象・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。【学びに向かう力、人間性等】</p>	<p>・指導項目</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 原子量・分子量・式量</li> <li>2. 物質</li> <li>3. 溶液の濃度</li> <li>4. 化学反応式</li> </ol> <p>・教材 教科書、ワーク、プリント 等</p> <p>・一人1台端末の活用 実験結果や調査結果をレポートにまとめる。</p>	<p>・物質と化学反応式についての実験などを通して、物質、化学反応式の基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。【知識及び技能】</p> <p>・物質、化学反応式について、問題を見だし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>・物質、化学反応式について主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。【主体的に学習に取り組む態度】</p>	○	○	○	16
定期考査				○	○		1
合計							105



高等学校 令和8年度（4学年用）教科

理科 科目 地学基礎

教科：理科 科目：地学基礎

単位数：2 単位

対象学年組：第 4 学年

教科担当者：（菊池 篤）

使用教科書：（実教地基007-901 地学基礎 新訂版）

教科 理科 の目標：

【知識及び技能】自然の事象・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】自然の事象・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 地学基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常生活や社会との関連を図りながら、地球や地球を取り巻く環境について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。	地球や地球を取り巻く環境を対象に、探究の過程を通して、情報の収集、仮設の設定、実験の計画、野外観察、調査データの分析・解釈、推論などの探究の方法を習得するとともに、報告書の作成や発表を通して、何が分かるようになったかを表現することができる。	地球や地球を取り巻く環境に対して主体的に関わり、それらに対する気付きから課題を設定し解決しようとする態度が養われている。自然環境の保全に寄与する態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<ul style="list-style-type: none"> <li>宇宙の誕生、及び太陽系の誕生について理解させるとともに、地球が太陽系の一員として誕生し、生命を生み出す条件を備えた惑星となった課程を理解させる。</li> <li>宇宙の誕生についてはビッグバンを扱い、宇宙の年齢と宇宙の誕生の過程で水素やヘリウムの原子がつけられたことを理解させる。</li> </ul>	3章 宇宙、太陽系と地球の誕生 1節 宇宙の誕生	<ul style="list-style-type: none"> <li>宇宙や太陽系、地球の誕生について関心を持ち、意欲的に学習しようとする。（授業態度）</li> <li>地球が誕生し、生命を生み出す条件を備えた惑星となった過程について関心を持ち、太陽系における地球について科学的な見方・考え方を身につけようとする。（授業態度）</li> <li>宇宙が約138億年前に誕生し、ビッグバン以降に水素原子やヘリウム原子が誕生して宇宙の晴れ上がるまでの過程を理解している。（定期考査）</li> </ul>	○	○	○	6
<ul style="list-style-type: none"> <li>太陽系の誕生については、原子太陽系円盤から太陽系が誕生したことを理解させる。その際、惑星が形成された過程を中心に扱い、惑星の形成過程で物質の分化により内部に層構造ができたことを学ばせる。</li> <li>太陽系の誕生の過程や、太陽のエネルギーが水素やヘリウムへの核融合であることを理解させる。</li> <li>地球の特徴についてはm海が形成されたことを中心に扱う。</li> <li>太陽からの距離、質量、大きさなどによって、水が液体として存在できる環境がつけられたことや、原始大気が形成されたことを取り上げ、地球が生命を生み出す条件を備えているという特徴を持つことを理解させる。</li> </ul>	2節 太陽の誕生 3節 惑星の誕生と地球の成長	<ul style="list-style-type: none"> <li>太陽が自転していることや自転周期が緯度によって異なることについて、黒点の位置の観測を通して考察し、適切に表現することができる。（課題提出）</li> <li>太陽系の惑星の特徴を理解し、地球型惑星と巨大ガス惑星、巨大氷惑星の違いについて、その形成過程の違いから説明することができる。（発問評価）</li> <li>地球が生命を生み出す条件を備えていることを、太陽からの距離や水が液体として存在できる環境、原始大気が形成されたことなどから総合的に判断して考察し、表現することができる。（発問評価）</li> <li>宇宙の誕生、及び太陽系の誕生について一連の流れを理解するとともに、地球が太陽系の一員として誕生し、生命を生み出す条件を備えた惑星となった過程を理解している。（定期考査）</li> </ul>	○	○	○	6
中間考査			○	○		1
<ul style="list-style-type: none"> <li>地球の形の特徴と大きさを、観察や測定の結果などから見いださせて理解させる。</li> <li>地球の赤道半径と極半径を扱い、地球が厳密には球でないことを理解させる。</li> <li>地球の内部には層構造があり、その状態が異なることを理解させる。</li> <li>地球内部の層構造について、地殻、マントル、外核、内核の区分と状態を扱う。また、それぞれの代表的な構成物質についても扱う。</li> <li>観察や測定を通して地球やマントルを構成する岩石の特徴を見いださせ、層構造について理解させる。</li> </ul>	1章 地球の構成と運動 1節 地球の構造	<ul style="list-style-type: none"> <li>地球の形と大きさについて、どのような方法で調べたのか、また、実際の形や大きさはどうか、関心を持って意欲的に学習しようとする。（授業態度）</li> <li>2地点の緯度の差や距離について調べ、地球が完全な球ではないことを見いだせる。（課題提出）</li> <li>地殻やマントルを構成する岩石の特徴を見だし、地球内部の密度や層構造について説明できる。（発問評価）</li> <li>測定の歴史や方法をふまえて地球の形と大きさについて理解するとともに、地球内部の層構造とその状態および構成物質について理解している。（定期考査）</li> </ul>	○	○	○	6
<ul style="list-style-type: none"> <li>プレートの分布と運動の様子を理解させるとともに、大地形の形成と地質構造をプレートの運動と関連付けて理解させる。</li> <li>プレートについては特徴や分布を扱う。また、プレートの境界は3種類あることを理解させる。</li> <li>マントル内にブルームが存在していることを扱う。</li> <li>中央海嶺や海溝、大山脈などの大地形の形成や、断層・褶曲などの地質構造がプレートの運動と関連していることを見いださせる。</li> <li>堆積岩や火成岩が高压や高温下で変成作用を受けることによって変成岩が形成されることを理解させる。</li> <li>火山活動や地震に関する資料に基づいて、火山活動と地震の発生の仕組みをプレートの運動と関連付けて理解させる。</li> <li>海溝付近の地震を扱い、プレートの収束境界における地震の発生の仕組みを理解させる。</li> <li>内陸部の活断層による地震や沈み込むプレート内の地震を扱い、プレートの境界以外にも地震が発生することを理解させる。</li> <li>プレートの発散境界や収束境界における火山の活動や分布などの特徴を理解させる。</li> <li>火成岩については、組織と化学組成や鉱物の組合せに基づいて分類されること、及び多様な火成岩がマグマの性質と関係していることを学ばせる。</li> <li>気圧や気温の鉛直方向の変化に関する資料に基づいて、大気の特徴を見いださせて理解させる。</li> <li>大気の構造については、気圧や気温が高度とともに変化することや、対流圏、成層圏、中間圏、熱圏が気温の変化によって区分されていることを理解させる。</li> <li>対流圏では雲の発生や降水、成層圏ではオゾン層により紫外線が吸収されること、熱圏ではオーロラや流星が見られることなどを学ばせる。</li> </ul>	2節 プレートの運動 3節 地震と火山	<ul style="list-style-type: none"> <li>プレートの分布や運動がどのように大地形の形成や地質構造と関わっているのか、関心を持って意欲的に学習しようとする。（授業態度）</li> <li>プレートの分布や移動から、プレート境界に見られる地形の特徴を見いだすことができ、大地形の形成とプレートの運動の関係について考察できる。（課題提出）</li> <li>世界の地震分布と火山の地震の分布がプレート境界に対応することを見だし、プレートの運動によって地質活動や火山活動がもたらされることを理解している。（発問評価）</li> <li>変成岩が形成される過程を理解し、主な変成岩の特徴を判断できる。（定期考査）</li> <li>岩盤にどのような力が加わると褶曲や断層が形成されるのか、実験を通して考察することができる。（課題提出）</li> <li>プレートの分布やプレート境界について理解するとともに、プレートの運動によって大地形が形成されることを理解している。（定期考査）</li> <li>火山活動や地震発生の仕組みについて関心を持ち、その分布や原因・災害などについて意欲的に学習しようとする。（授業態度）</li> <li>日本列島付近のプレート分布から、地震の分布とプレートの分布の関係について考察することができる。（発問評価）</li> <li>地震の発生の仕組みを理解し、それぞれなぜ地震が起こるのかプレート運動をもとに表現することができる。（発問評価）</li> <li>地震のデータをもとに、震源を探る方法、地下の様子を探る方法などについて習得し、結果を図や表を用いて表現できる。（課題提出）</li> <li>日本列島付近のプレート分布から、火山の分布とプレートの分布の関係について考察することができる。（発問評価）</li> <li>砂や火山灰から鉱物を識別する実験や、火成岩などの観察の技能を習得し、組織と化学組成や鉱物の組合せに基づいて分類することができる。（課題提出）</li> <li>火山活動や地震について基本的な知識を身に付けるとともに、それらの現象がプレート運動と深く関連していることを理解している。（定期考査）</li> </ul>	○	○	○	6
期末考査			○	○		1

<p>・気圧や気温の鉛直方向の変化に関する資料に基づいて、大気の特徴を思い出させて理解させる。</p> <p>・大気の特徴については、気圧や気温が高度とともに変化することや、対流圏、成層圏、中間圏、熱圏が気温の変化によって区分されていることを理解させる。</p> <p>・対流圏では雲の発生や降水、成層圏ではオゾン層により紫外線が吸収されること、熱圏ではオーロラや流星が見られることなどを学ばせる。</p>	<p>2章 大気と海洋 1節 大気と海洋</p>	<p>・気圧や気温が高度とともに変化することや大気の特徴について関心を持ち、意欲的に学習しようとする。(授業態度)</p> <p>・資料をもとに、高度と気圧の関係や高度と気温の関係をグラフを作成し、鉛直方向の気圧や気温の変化の特徴を見いだすとともに、大気の特徴が何をもちに付けられているのか考察することができる。(課題提出)</p> <p>・乾燥温度と湿度による湿度</p> <p>・測定の方法を習得するとともに、この方法で湿度が測定できる理由について考察することができる。(課題提出)</p> <p>・雲の形成に必要なものを、実験を通して説明することができる。(発問評価)</p> <p>・大気の特徴や観測される現象について説明することができる。(定期考査)</p>	<p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>	<p>6</p>
<p>・地球全体として大気を通して出入りする太陽放射の受熱量と地球放射の放熱量が釣り合っていることを理解させる。</p> <p>・人工衛星による赤外面像や放射冷却に関する資料に基づいて、大気や地表から放射が行われていることを理解させる。</p> <p>・水蒸気、二酸化炭素やメタンなどが温室効果をもたらしていることを学ばせる。</p> <p>・大気と海水の運動に関する資料に基づいて、大気と海洋の大循環について理解させるとともに、それらの地球規模の流れと緯度による太陽放射の受熱量の変化などから、地球規模で熱が輸送されていることを見いださせて理解させる。</p> <p>・年平均の風や海流の分布などの資料に基づいて、偏西風、貿易風、ハドレー循環、暖流、寒流などを理解させる。</p> <p>・海洋の層構造と深層に及ぶ循環については、表層と深層で水温が違ふことや、表層と深層の間の循環などについて扱う。</p>	<p>2節 大気の大循環</p>	<p>・太陽放射と地球放射が地球全体で釣り合っていることについて関心を持ち、意欲的に学習しようとする。(授業態度)</p> <p>・大気と海洋の大循環によって地球規模で熱輸送が行われていることについて関心を持ち、意欲的に学習しようとする。(授業態度)</p> <p>・赤外面像やグラフより大気や地表から放射が行われていることを読み取り、説明することができる。(発問評価)</p> <p>・緯度とエネルギー収支の関係をグラフから、低緯度では太陽放射の受熱量が大きく、高緯度では地球放射の放射量の方が大きくなっていることを読み取り、低緯度から高緯度に向かって地球規模で熱が輸送されていることを見いだすことができる。(課題提出)</p> <p>・緯度による受熱量の違いから、ハドレー循環や貿易風、偏西風などが形成されることを理解するとともに、地球規模の大気の大循環について系統立てて説明することができる。(発問評価)</p> <p>・日射量の測定方法を習得し、その過程や結果を適切に表現することができる。(課題提出)</p> <p>・海水温の鉛直分布の図から、海洋の表層と深層で水温が違ふことについて考察することができる。(発問評価)</p> <p>・海水が地球規模で循環していることを理解し、この循環や海流が地球規模の熱輸送においてはたす役割について説明することができる。(発問評価)</p> <p>・各季節の典型的な天気図や衛星画像からそれぞれの季節の特徴を適切に読み取ることができる。(課題提出)</p> <p>・大気と海洋の大循環について理解するとともに、それらの地球規模の流れと緯度による太陽放射の受熱量の変化などから、地球規模で熱が輸送されていることを理解している。(定期考査)</p>	<p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>	<p>6</p>
<p>中間考査</p>			<p>○</p> <p>○</p>	<p>1</p>
<p>・地層や化石に関する観察などを行い、古生物の変遷などに基づいて古生代、中生代、新生代の地質時代が更に区分されることを理解させる。</p> <p>・地球環境の変化に関する資料に基づいて、大気の変化と生命活動が相互に関わりをもちながら地球環境が変化してきたことを見いださせて理解させる。</p>	<p>4章 古生物の変遷と地球環境の変化 1節 地層のつき方</p>	<p>・地形や地層、化石について意欲的に観察や実験を行い、それらが作られた環境や原因を学び、地球の歴史を解き明かす方法とその特徴を学習しようとする。(授業態度)</p> <p>・砕層粒の堆積の様子を観察し、河川によって形成される地形について考察し適切に表現できる。(課題提出)</p> <p>・堆積岩を適切に観察する技能を習得し、結果や考察を的確に表現できる。(課題提出)</p> <p>・堆積構造や地質構造を観察することで、堆積当時の環境や生じた地殻変動について適切に推定することができる。(発問評価)</p> <p>・地形や地層の観察方法を習得し、観察結果に基づき、地質年代や堆積環境、過去の地殻変動について適切に推定することができる。(課題提出)</p>	<p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>	<p>6</p>
<p>・地層や化石に関する観察などを行い、古生物の消長により古生代中生代、新生代の地質時代が更に細分化された「紀」に区分されていることを理解させる。</p> <p>・古生代の三葉虫、フズリナ、イクチオステガ、リンボク、中生代の恐竜、アンモナイト、ソテツ、トリゴニア、新生代のイネ科などの被子植物、貨幣石、ピカリア、ナウマンゾウなど代表的な化石について学ばせる。また、ヒトの進化では、直立二足歩行などの人類の特徴を扱う。</p> <p>・地球環境の変化に関する資料に基づいて、大気の変化と生命活動の相互の関わりを見いださせる。</p> <p>・光合成生物の出現による酸素の増加やオゾン層の形成、オゾン層の形成による地表での紫外線の減少と生物の陸上進出について理解させる。</p>	<p>2節 化石と地質時代の区分</p>	<p>・化石の観察方法を習得し、観察結果に基づいて古生物の特徴を適切に考察することができる。(課題提出)</p> <p>・地球環境の変化に関する資料に基づき、地質時代を通して生物の活動が大気に与えた影響や、大気の変化が生物に与えた影響について見いだすことができる。(発問評価)</p> <p>・地質時代が古生物の変遷に基づいて区分されることを理解するとともに、各地質時代の出来事や特徴的な生物、化石について理解している。(定期考査)</p>	<p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>	<p>6</p>
<p>期末考査</p>			<p>○</p> <p>○</p>	<p>1</p>

3 学 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本における自然環境の特徴を理解させ、それらがもたらす恩恵や災害など、人間生活が自然環境と深く関わっていることを学ばせる。</li> <li>・地域の自然災害の実例や防災に関する資料、ハザードマップなどに基づいて、地域の自然災害の特徴を理解させる。</li> <li>・予測された被害を低減させる取り組みについて考えさせる。</li> <li>・地球環境の変化を見だし、その仕組みを理解させるとともに、それらの現象と人間生活との関わりについて認識させる。</li> <li>・地球温暖化、オゾン層破壊、エルニーニョ現象などについて仕組みを理解させるとともに、人間生活に関連していることを理解させる。</li> </ul>	5章 地球の環境 1節 日本の自然環境 2節 地球環境の科学	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の自然環境がもたらす災害と恩恵について関心をもち、意欲的に学習しようとする。(授業態度)</li> <li>・自然災害の起きる状況を理解し、災害リスクを減らすための、科学的な見方・考え方を身につけようとする。(授業態度)</li> <li>・自然災害の起きる原因や条件を理解し、災害リスクを減らすための方法について総合的に判断し、それを表現することができる。(発問評価)</li> <li>・ハザードマップなどを調査検討する技能を習得し、災害リスクを的確に表現できる。(課題提出)</li> <li>・日本列島における自然環境の特徴について理解し、自然環境の恩恵と自然災害のリスクについてを理解している。(定期考査)</li> <li>・地球規模の自然環境やそこで起きている環境変化について関心をもち、意欲的に学習しようとする。(授業態度)</li> <li>・資料やデータに基づいて世界の平均気温の変化や二酸化炭素濃度の変化を見だし、地球温暖化の原因について適切に考察することができる。(課題提出)</li> <li>・エルニーニョ現象やオゾンホールが発生する仕組みについて理解するとともに、それらの現象がもたらす影響について理解し、適切に説明できる。(発問評価)</li> <li>・異常気象によって発生する災害について理解するとともに、被害を減らすための方法について考察し、適切に表現することができる。(発問評価)</li> <li>・地球環境に影響を及ぼしている人間活動について考察するとともに、現在の状況が続くことによる将来への影響について総合的に判断することができる。(課題提出)</li> <li>・人間活動が地球環境に与えてきた影響について理解するとともに、持続可能な未来の実現のために人類ができることを考え、表現することができる。(発問評価)</li> <li>・地球規模で起きている自然環境の変化について理解するとともに、それらの変化が人間活動の影響によって起きていることを理解している。(定期考査)</li> </ul>	○	○	○	18
		合計		70			



教科：保健体育 科目：体育  
 対象学年組：第 2 学年  
 教科担当者：大山 宗一郎  
 使用教科書：（現代高等保健体育）  
 教科 保健体育

単位数：2 単位

の目標：生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間考えたことを他者に伝える力を養う。

【知識及び技能】

各種運動の特性に応じた技能及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする

【思考力、判断力、表現力等】

運動と健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う

【学びに向かう力、人間性等】

生涯にわたって継続して運動に親しみとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う

科目 体育

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正にやりこむ、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、1人1人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しみ態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数	
1 学期	<p>【知識及び技能】 体を動かす楽しさや心地よさを味わい、運動を継続する意義、体の構造、運動の原理などを理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取組みを工夫するとともに、自己や仲間の考えを他者に伝えること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとする。一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとする。話し合いに貢献することなどや健康・安全を確保すること。</p>	<p>・指導事項 ストレッチ・筋力トレーニング・コーディネーション・なわとび・おにごっこ</p> <p>・学習シート</p> <p>・一人1台端末の活用</p> <p>個人の学習計画や進捗を管理する</p>	<p>【知識・技能】 定期的・計画的に運動を継続することは、心身の健康、健康や体力の保持増進につながる意義があることについて、書いたり書き出したりしている。</p> <p>【思考・判断・表現】 ねらいや体力の程度を踏まえ、自己や仲間の課題に応じた強度、時間、回数、頻度を設定している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 体づくり運動の学習に自主的に取り組もうとしている。一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとしている。</p>	○	○	○	7
<p>【知識及び技能】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組む。</p>	<p>・指導事項 スポーツにおける技術と体力、スポーツにおける技術と戦術、技能の上達過程と練習、効果的な動きのメカニズム、体力トレーニング</p> <p>・教科書・学習シート</p> <p>・一人1台端末の活用</p> <p>個人の学習計画や進捗を管理する</p>	<p>スポーツの文化的特性や現代のスポーツ発展について</p> <p>【知識・技能】 書いたり書き出したりしている。</p> <p>【思考・判断・表現】 課題を発見しよりよい環境に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えようとしている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 自主的に取り組んでいる。</p>	○	○	○	7	
<p>【知識及び技能】 役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防を行う。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取組みを工夫し、自己や仲間の考えを他者に伝える。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にする。作戦などについての話し合いに貢献すること、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にすること、互いに助け合い教え合うことなどや、健康・安全を確保すること。</p>	<p>・指導事項 サープ・ドライブ・クリア・ヘアピン・ロブ・ドロップ</p> <p>・教材 学習シート</p> <p>・一人1台端末の活用</p> <p>個人の学習計画や進捗を管理する</p>	<p>【知識・技能】 ボールを相手側のコートに空いた場所やねらった場所に打ち返すことができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 体力や技能の程度、性別等の違いに配慮して、仲間とともに球技を楽しむための活動の方法や修正の仕方を見付けている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 一人一人の違いに応じた課題や挑戦及び修正などを大切にしようとしている。</p>	○	○	○	7	
<p>【知識及び技能】 ゴール型では、安定したボール操作と空間を作りだすなどの動きによってゴール前への侵入などから攻撃をすることができるようになる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間伝えること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 球技の学習に自主的に取り組もうとする。</p>	<p>・指導事項 バス・ドリブル・シュート</p> <p>・教材 学習シート</p> <p>・一人1台端末の活用</p> <p>個人の学習計画や進捗を管理する</p>	<p>【知識・技能】 戦術や作戦に応じて、技能をゲーム中に適切に発揮することが攻防のポイントであることについて、学習した具体例を挙げている。</p> <p>【思考・判断・表現】 選択した運動に必要な準備運動や自己が取り組む補助運動を選んでいる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 相手を尊重するなどのフェアなプレイを大切にしようとしている。</p>	○	○	○	7	
2 学期	<p>【知識及び技能】 ゴール型では、安定したボール操作と空間を作りだすなどの動きによってゴール前への侵入などから攻撃をすることができるようになる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間伝えること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 球技の学習に自主的に取り組もうとする。</p>	<p>・指導事項 バス・ドリブル・シュート</p> <p>・教材 学習シート</p> <p>・一人1台端末の活用</p> <p>個人の学習計画や進捗を管理する</p>	<p>【知識・技能】 戦術や作戦に応じて、技能をゲーム中に適切に発揮することが攻防のポイントであることについて、学習した具体例を挙げている。</p> <p>【思考・判断・表現】 選択した運動に必要な準備運動や自己が取り組む補助運動を選んでいる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 相手を尊重するなどのフェアなプレイを大切にしようとしている。</p>	○	○	○	16
<p>【知識及び技能】 回転系や巧技系の基本的な技を滑らかに安定して行うこと、条件を変えた技や発展技を行うこと及びそれらを構成し演技を行う。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 技などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取組みを工夫する。自己の考えたことを他者に伝える。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 自主的に取り組む、互いに助け合い教え合う。一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にすることなどや、健康・安全を確保すること。</p>	<p>・指導事項 回転系 巧技系</p> <p>・教材 学習シート</p> <p>・一人1台端末の活用</p> <p>個人の学習計画や進捗を管理する</p>	<p>【知識・技能】 技の行い方は技の課題を解決するための合理的な動き方のポイントがあり、同じ系統の技には共通性があることについて、学習した具体例を挙げている。</p> <p>【思考・判断・表現】 健康や安全を確保するために、体調や環境に応じた適切な練習方法等について振り返っている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 自己の状況にかかわらず、互いに教え合おうとしている。</p>	○	○	○	16	
<p>【知識及び技能】 役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防を行う。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取組みを工夫し、自己や仲間の考えを他者に伝える。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にする。作戦などについての話し合いに貢献すること、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にすること、互いに助け合い教え合うことなどや、健康・安全を確保すること。</p>	<p>・指導事項 サープ・フォア・バック</p> <p>・教材 学習シート</p> <p>・一人1台端末の活用</p> <p>個人の学習計画や進捗を管理する</p>	<p>【知識・技能】 ボールを相手側のコートに空いた場所やねらった場所に打ち返すことができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 体力や技能の程度、性別等の違いに配慮して、仲間とともに球技を楽しむための活動の方法や修正の仕方を見付けている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 一人一人の違いに応じた課題や挑戦及び修正などを大切にしようとしている。</p>	○	○	○	6	
3 学期	<p>【知識及び技能】 自己に適したペースを維持して走る。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間伝えること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 陸上競技の学習に自主的に取り組もうとする。</p>	<p>・指導事項 フォーム・呼吸法</p> <p>・教材 学習シート</p> <p>・一人1台端末の活用</p> <p>個人の学習計画や進捗を管理する</p>	<p>【知識・技能】 自己の体力や技能の程度に合ったペースを維持して走ることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 体力や技能の程度、性別等の違いに配慮して、仲間とともに陸上競技を楽しむための活動の方法や修正の仕方を見付けている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 陸上競技の学習に自主的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	6
<p>【知識及び技能】 役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防を行う。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取組みを工夫し、自己や仲間の考えを他者に伝える。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にする。作戦などについての話し合いに貢献すること、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にすること、互いに助け合い教え合うことなどや、健康・安全を確保すること。</p>	<p>・指導事項 サープ・フォア・バック</p> <p>・教材 学習シート</p> <p>・一人1台端末の活用</p> <p>個人の学習計画や進捗を管理する</p>	<p>【知識・技能】 ボールを相手側のコートに空いた場所やねらった場所に打ち返すことができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 体力や技能の程度、性別等の違いに配慮して、仲間とともに球技を楽しむための活動の方法や修正の仕方を見付けている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 一人一人の違いに応じた課題や挑戦及び修正などを大切にしようとしている。</p>	○	○	○	6	
						合計	78

教科：保健体育

科目：体育

単位数：3 単位

対象学年組：第 3 学年

教科担当者：大山 宗一郎

使用教科書：（現代高等保健体育）

教科 保健体育

の目標：生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間考えたことを他者に伝える力を養う。

【知識及び技能】

各種運動の特性に応じた技能及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする

【思考力、判断力、表現力等】

運動や健康についての自己や社会の課題を発見し、合理的計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う

【学びに向かう力、人間性等】

生涯にわたって継続して運動に親しみとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う

科目 体育

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、1人1人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しみ態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 見 態			配当 時数
			知	見	態	
<p>体つくり運動</p> <p>【知識及び技能】体を動かす楽しさや心地よさを味わい、運動を継続する意義、体の構造、運動の原理などを理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取組みを工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとする。一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとする。話し合いに貢献することや健康・安全を確保すること。</p>	<p>・指導事項 ストレッチ・筋力トレーニング・コーディネーション・なわとび・おにごっこ</p> <p>・学習シート</p> <p>・一人1台端末の活用</p> <p>個人の学習計画や進捗を管理する</p>	<p>【知識・技能】定期的・計画的に運動を継続することは、心身の健康、健康や体力の保持増進につながる意義があることについて、言ったり書きだしたりしている。</p> <p>【思考・判断・表現】おなわとびや体力の程度を踏まえ、自己や仲間の課題に応じた強度、時間、回数、頻度を設定している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】体つくり運動の学習に自主的に取り組もうとしている。一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとしている。</p>	○	○	○	11
<p>体育理論</p> <p>【知識及び技能】スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとする。一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとする。話し合いに貢献することや健康・安全を確保すること。</p>	<p>・指導事項 スポーツにおける技術と体力、スポーツにおける技術と戦術、技能の上達過程と練習、効果的な動きのメカニズム、体力トレーニング</p> <p>・教材 学習シート</p> <p>・一人1台端末の活用</p> <p>個人の学習計画や進捗を管理する</p>	<p>スポーツの文化的特性や現代のスポーツ発展について</p> <p>【知識・技能】言ったり書きだしたりしている。</p> <p>【思考・判断・表現】課題を発見しよりよい環境に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えようとしている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】自主的に取り組んでいる。</p>	○	○	○	11
<p>1 学期</p> <p>バドミントン</p> <p>【知識及び技能】役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防を行う。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取組みを工夫し、自己や仲間の考えを他者に伝える。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にする。作戦などについての話し合いに貢献すること、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にするとともに、互いに助け合い教え合おうなど、健康・安全を確保する。</p>	<p>・指導事項 サープ・ドライブ・クリア・ヘアピン・ロブ・ドロップ</p> <p>・教材 学習シート</p> <p>・一人1台端末の活用</p> <p>個人の学習計画や進捗を管理する</p>	<p>【知識・技能】ボールを相手側のコートの空いた場所やねらった場所に打ち返すことができる。</p> <p>【思考・判断・表現】体力や技能の程度、性別等の違いに配慮して、仲間とともに球技を楽しむための活動の方法や修正の仕方を見付けている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】一人一人の違いに応じた課題や挑戦及び修正などを大切にしようとしている。</p>	○	○	○	10
<p>サッカー</p> <p>【知識及び技能】ゴール型では、安定したボール操作と空間を作りだすなどの動きによってゴール前への侵入などから攻撃をすることができるようになる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間伝えること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にする。作戦などについての話し合いに貢献すること、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にするとともに、互いに助け合い教え合おうなど、健康・安全を確保する。</p>	<p>・指導事項 パス・ドリブル・シュート</p> <p>・教材 学習シート</p> <p>・一人1台端末の活用</p> <p>個人の学習計画や進捗を管理する</p>	<p>【知識・技能】戦術や作戦に応じて、技能をゲーム中に適切に発揮することが攻防のポイントであることについて、学習した具体例を挙げている。</p> <p>【思考・判断・表現】選択した運動に必要な準備運動や自己が取り組む補助運動を選んでいる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】相手を尊重するなどのフェアなプレイを大切にしようとしている。</p>	○	○	○	10
<p>2 学期</p> <p>バスケットボール</p> <p>【知識及び技能】ゴール型では、安定したボール操作と空間を作りだすなどの動きによってゴール前への侵入などから攻撃をすることができるようになる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間伝えること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にする。作戦などについての話し合いに貢献すること、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にするとともに、互いに助け合い教え合おうなど、健康・安全を確保する。</p>	<p>・指導事項 パス・ドリブル・シュート</p> <p>・教材 学習シート</p> <p>・一人1台端末の活用</p> <p>個人の学習計画や進捗を管理する</p>	<p>【知識・技能】戦術や作戦に応じて、技能をゲーム中に適切に発揮することが攻防のポイントであることについて、学習した具体例を挙げている。</p> <p>【思考・判断・表現】選択した運動に必要な準備運動や自己が取り組む補助運動を選んでいる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】相手を尊重するなどのフェアなプレイを大切にしようとしている。</p>	○	○	○	23
<p>マット運動</p> <p>【知識及び技能】回転系や巧技系の基本的な技を滑らかに安定して行うこと、条件を変えた技や発展技を行うこと及びそれらを構成し演技する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】技についての自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取組みを工夫し、自己や仲間の考えを他者に伝える。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にする。作戦などについての話し合いに貢献すること、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にするとともに、互いに助け合い教え合おうなど、健康・安全を確保する。</p>	<p>・指導事項 回転系 巧技系</p> <p>・教材 学習シート</p> <p>・一人1台端末の活用</p> <p>個人の学習計画や進捗を管理する</p>	<p>【知識・技能】技の行い方は技の課題を解決するための合理的な動き方のポイントがあり、同じ系統の技には共通性があることについて、学習した具体例を挙げている。</p> <p>【思考・判断・表現】健康や安全を確保するために、体調や環境に応じた適切な練習方法等について振り返っている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】自己の状況にかかわらず、互いに教え合おうとしている。</p>	○	○	○	22
<p>3 学期</p> <p>テニス</p> <p>【知識及び技能】役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防を行う。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取組みを工夫し、自己や仲間の考えを他者に伝える。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にする。作戦などについての話し合いに貢献すること、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にするとともに、互いに助け合い教え合おうなど、健康・安全を確保する。</p>	<p>・指導事項 サープ・フォア・バック</p> <p>・教材 学習シート</p> <p>・一人1台端末の活用</p> <p>個人の学習計画や進捗を管理する</p>	<p>【知識・技能】ボールを相手側のコートの空いた場所やねらった場所に打ち返すことができる。</p> <p>【思考・判断・表現】体力や技能の程度、性別等の違いに配慮して、仲間とともに球技を楽しむための活動の方法や修正の仕方を見付けている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】一人一人の違いに応じた課題や挑戦及び修正などを大切にしようとしている。</p>	○	○	○	10
<p>持久走</p> <p>【知識及び技能】自己に適したペースを維持して走る。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間伝えること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にする。作戦などについての話し合いに貢献すること、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にするとともに、互いに助け合い教え合おうなど、健康・安全を確保する。</p>	<p>・指導事項 フォーム・呼吸法</p> <p>・教材 学習シート</p> <p>・一人1台端末の活用</p> <p>個人の学習計画や進捗を管理する</p>	<p>【知識・技能】自己の体力や技能の程度に合ったペースを維持して走ることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】体力や技能の程度、性別等の違いに配慮して、仲間とともに陸上競技を楽しむための活動の方法や修正の仕方を見付けている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】陸上競技の学習に自主的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	10
<p>卓球</p> <p>【知識及び技能】役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防を行う。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取組みを工夫し、自己や仲間の考えを他者に伝える。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にする。作戦などについての話し合いに貢献すること、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にするとともに、互いに助け合い教え合おうなど、健康・安全を確保する。</p>	<p>・指導事項 サープ・フォア・バック</p> <p>・教材 学習シート</p> <p>・一人1台端末の活用</p> <p>個人の学習計画や進捗を管理する</p>	<p>【知識・技能】ボールを相手側のコートの空いた場所やねらった場所に打ち返すことができる。</p> <p>【思考・判断・表現】体力や技能の程度、性別等の違いに配慮して、仲間とともに球技を楽しむための活動の方法や修正の仕方を見付けている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】一人一人の違いに応じた課題や挑戦及び修正などを大切にしようとしている。</p>	○	○	○	10
合計						117





高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 保健体育 科目 保健

教科：保健体育 科目：保健 単位数：1 単位

対象学年組：第 2 学年

教科担当者：大山 宗一郎

使用教科書：（現代高等保健体育）

教科 保健体育 の目標：生涯にわたって継続して健康の保持増進を行い、  
運動に親しみ明るく豊かで活力ある生活を営む態度を培う。

【知識及び技能】各種運動の特性に応じた技能及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする

【思考力、判断力、表現力等】運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたって継続して運動に親しみとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う

科目 保健 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	生涯を通じる健康 【知識・技能】 生涯を通じる健康について理解する。 【思考・判断・表現等】 生涯を通じる健康に関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現することができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 健康を大切にし、自他の健康の保持増進や回復及び健康な社会づくりについての学習に主体的に取り組むことができるようにする。	生涯を通じる健康 ・指導事項 ライフステージと健康、思春期と健康、性意識と性行動の選択、妊娠・出産と健康、避妊法と人工妊娠中絶、結婚と健康 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 生涯を通じる健康について理解している。 【思考・判断・表現】 生涯を通じる健康に関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 健康を大切にし、自他の健康の保持増進や回復及び健康な社会づくりについての学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	13
	確認テスト	・授業内で確認テスト ・一人1台端末の活用		○	○		1
2 学 期	生涯を通じる健康 【知識】 生涯を通じる健康について理解する。 【思考・判断・表現等】 生涯を通じる健康に関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現することができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 健康を大切にし、自他の健康の保持増進や回復及び健康な社会づくりについての学習に主体的に取り組むことができるようにする。	生涯を通じる健康 ・指導事項 中高年期と健康、働くことと健康、労働災害と健康、健康的な職業生活、健康を支える環境づくり 大気汚染と健康、水質汚濁・土壌汚染と健康、ごみ処理と上下水道の整備 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 生涯を通じる健康について理解している。 【思考・判断・表現】 生涯を通じる健康に関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 健康を大切にし、自他の健康の保持増進や回復及び健康な社会づくりについての学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	14
	確認テスト	・授業内で確認テスト ・一人1台端末の活用		○	○		1
3 学 期	健康を支える環境づくり 【知識】 身体对环境に対する適応能力や至適範囲、飲料水や空気の衛生的管理、生活に伴う廃棄物の衛生的管理について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解している。 【思考・判断・表現等】 健康と環境について、課題の解決を目指して、知識を活用した学習活動などにより、科学的に考え、判断し、それらを表している。 【学びに向かう力、人間性等】 健康と環境について関心をもち学習活動に意欲的に取り組もうとしている。	健康を支える環境づくり ・指導事項 食品の安全性、食品衛生にかかわる活動、保健サービスとその活用、医療サービスとその活用、医薬品の制度とその活用、さまざまな保健活動や社会的対策、健康に関する環境づくりと社会参加	【知識・技能】 身体对环境に対する適応能力や至適範囲について理解したことを言ったり、書き出したりしている。 【思考・判断・表現】 健康と環境について、健康に関する資料等で調べたことをもとに課題や解決の方法を見つけたり、選んだりするなどして、それらを説明している。 【学びに向かう力、人間性等】 健康と環境について、健康に関する資料を見たり、自分たちの生活を振り返ったりするなどの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。	○	○	○	9
	確認テスト	・授業内で確認テスト ・一人1台端末の活用		○	○		1
合計							39

高等学校 令和8年度（1学年用）教科

芸術 科目 美術 I

教科：芸術

科目：美術 I

単位数：3 単位

対象学年組：第 1 学年

教科担当者：旭 仁也

使用教科書：（日本文教出版 高校生の美術 I ）

教科 芸術科 美術 の目標：授業を通して美術の事をもっともっと好きになる。

【知識及び技能】 道具の特性を理解し、作品制作に適切に活用する。

【思考力、判断力、表現力等】 多様な表現の素晴らしさを知り、自己の表現の幅を広げる。

【学びに向かう力、人間性等】 題材の目標を理解して、作品制作に真摯に取り組む。

科目 美術 I の目標：多様な表現の基礎を学び、今後の作品制作に活用していけるようになる。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
道具の特性を理解して、作品制作に活用できる。	作品を通して何を考え、何を伝えようとし、どう表現したらよいかを具現化しようとしている。	粘り強く楽しんで、作品制作に向き合っている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			絵 ・ 彫	デ 映	鑑 賞					
1 学 期	内容：素描 目標：カッターを用いて鉛筆を削れるようになる。鉛筆で絵を描く。	鉛筆の基本的な使い方を覚える。描く対象を注意深く観察する。かの人は言った「見よ、そして見よ」と。観察から得られる気付きを言語化していく。	○		○	知：カッターナイフの握り方や使い方を理解し、素描に適した形に鉛筆を削ることができる。 思：モチーフを観察し、鉛筆画で表現しようとしている。 態：真剣に楽しんで、授業課題に取り組んでいる。	○	○	○	18
	内容：水彩画 目標：水彩色鉛筆や水彩絵の具を用いて、色彩表現に触れ、理解を深める。	色彩の魅力に触れる、感じる。画用紙に色彩の広がりを生み出す。世の中には様々な色があることを知り、それを尊重する心を養う。	○		○	知：適切な水分量で絵の具を溶き、筆で描画することができる。 思：にじみやぼかし、かすれなどの多様な表現を作品制作に取り入れている。 態：真剣に楽しんで、授業課題に取り組んでいる。	○	○	○	22
2 学 期	内容：写真表現 目標：多様な視点や価値観があることを知る。	スマホを活用して、写真表現の入り口に立つ。同一テーマで取り組んだ他者の作品鑑賞を通して、世の中の見かた、見え方は単一ではなく多様性に溢れているという事に気付かせる。			○	知：デジタル表現をアナログ表現に転換することができる。 思：自分の追い求める作品を目指して、思考し、判断し、表現しようとしている。 態：真剣に楽しんで、授業課題に取り組んでいる。	○	○	○	16
	内容：色彩構成 目標：単純化した色面で、自分の思考を表現する。	テーマから発想構想し、イメージを単純な幾何形体に置き換え、構成する。デ・サインの定義を知り、社会の中で用いられる様々なデザインを意識する心を芽生えさせる。	○		○	知：アクリル絵の具を活用して、ムラなく混色し、丁寧に均質に着彩することができる。 思：自分の求めるイメージを目指して、思考し、単純化した形態を構成して、具現化している。 態：真剣に楽しんで、授業課題に取り組んでいる。	○	○	○	30
3 学 期	内容：陶芸 目標：作品制作を通じて、用の美の世界を体験する。	粘土を成形し、器を制作する。自然に対する愛着を感じ、普段使いの陶器の成り立ちを知る。万物を大切に扱う心を養う。	○		○	知：粘土の可変的な造形性を体得し、ヘラや弓などの道具を活用して、作品制作している。 思：回転するろくろに置かれた粘土から、物の理を感じる事ができる。 態：真剣に楽しんで、授業課題に取り組んでいる。	○	○	○	31
合計										117

高等学校 令和8年度（2学年用）教科

芸術 科目 美術Ⅱ

教科：芸術

科目：美術Ⅱ

単位数：2 単位

対象学年組：第 2 学年

教科担当者：旭 仁也

使用教科書：（ 日本文教出版 高校生の美術Ⅱ ）

教科 芸術科 美術 の目標：授業を通して、技術を磨き自己表現を探究する。

【知識及び技能】 道具の特性を理解し、作品制作に適切に活用する。

【思考力、判断力、表現力等】 多様な表現の素晴らしさを知り、自己の表現の幅を広げる。

【学びに向かう力、人間性等】 題材の目標を理解して、作品制作に真摯に取り組む。

科目 美術Ⅱ の目標：多様な表現方法を学び、今後の作品制作に活用していけるようになる。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
道具の特性を理解して、作品制作に活用できる。	作品を通して何を考え、何を伝えようとし、どう表現したらよいかを具現化しようとしている。	粘り強く楽しんで、作品制作に向き合っている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			絵 ・ 彫	デ 映	鑑 賞					
1 学 期	内容：バターナイフ制作 目標：木材を使用し、削りだすことにより形を作っていく過程をおおして、造形力を養う。	デザインを数多く考え、使いやすく美しい形を考えることにより、デザインとは何かを学ぶ。 糸鋸や木彫り用ナイフの基本的な使い方を覚える。	○	○	○	知：糸鋸の使い方を理解し、適した形に木材を削る事ができる。 思：使いやすく美しい形とは何かを考え、表現しようとしている。 態：真剣に楽しんで、授業課題に取り組んでいる。	○	○	○	26
2 学 期	内容：写真表現 目標：多様な視点や価値観があることを知る。	スマホを活用して、写真表現の入り口立つ。 同一テーマで取り組んだ他者の作品鑑賞を通して、世の中の見かた、見え方は単一ではなく多様性に溢れているという事に気付かせる。			○	知：デジタル表現をアナログ表現に転換する事ができる。 思：自分の追い求める作品を目指して、思考し、判断し、表現しようとしている。 態：真剣に楽しんで、授業課題に取り組んでいる。	○	○	○	8
	内容：模刻 目標：モチーフをよく観察し、特徴を捉え、立体的に再現する。	モチーフを深く観察し、構造や規則性などを考え、特徴を把握する。 観察から感じ取ったことを石粉粘土により再現する事で、造形感覚を養う。	○		○	知：鉛筆デッサンでモチーフの特徴を把握し、石粉粘土を用いてその特徴を再現出来る。 思：自分の求めるイメージを目指して、思考し、具現化している。 態：真剣に楽しんで、授業課題に取り組んでいる。	○	○	○	24
3 学 期	内容：陶芸 目標：作品制作を通じて、用の美の世界を体験する。	粘土を成形し、器を制作する。 土や釉薬の特性を学び、陶器の成り立ちを知る。 万物を大切に扱う心を養う。	○		○	知：粘土の可変的な造形性を体得し、ヘラや弓などの道具を活用して、作品制作している。 思：回転するろくろに置かれた粘土から、物の理を感じる事ができる。 態：真剣に楽しんで、授業課題に取り組んでいる。	○	○	○	20
合計										78

高等学校 令和8年度（3学年用）教科

芸術 科目 美術Ⅲ

教科：芸術

科目：美術Ⅲ

単位数：2 単位

対象学年組：第 3 学年

教科担当者：旭 仁也

使用教科書：（ 日本文教出版 高校生の美術Ⅲ ）

教科 芸術科 美術 の目標： 授業を通して、技術を磨き自己表現を探究する。

【知識及び技能】 道具の特性を理解し、作品制作に適切に活用する。

【思考力、判断力、表現力等】 多様な表現の素晴らしさを知り、自己の表現の幅を広げる。

【学びに向かう力、人間性等】 題材の目標を理解して、作品制作に真摯に取り組む。

科目 美術Ⅲ の目標： 多様な表現の展開を学び、自己の価値観を広げていく。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
道具の特性を理解して、作品制作に活用できる。	作品を通して何を考え、何を伝えようとし、どう表現したらよいかを具現化しようとしている。	粘り強く楽しんで、作品制作に向き合っている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			絵 ・ 彫	デ 映	鑑 賞					
1 学 期	内容：陶芸 目標：作品制作を通じて、用の美の世界を体験する。	粘土を成形し、器を制作する。土や釉薬の特性を学び、陶器の成り立ちを知る。	○		○	知：粘土の可変的な造形性を体得し、ヘラや弓などの道具を活用して、作品制作している。	○	○	○	26
		菊練りなど、陶芸における基本的な動作を体得する。 手回しろくろを中心に扱うが、慣れてきたら電動ろくろにも挑戦する。 自ら制作した作品を通して、日常で使用している陶器を大切に扱う心を養う。		○		○	思：回転するろくろに置かれた粘土から、物の理を感じる事ができる。 態：真剣に楽しんで、授業課題に取り組んでいる。	○	○	
2 学 期	内容：写真表現 目標：多様な視点や価値観があることを知る。	スマホを活用して、写真表現の入り口に立つ。 同一テーマで取り組んだ他者の作品鑑賞を通して、世の中の見かた、見え方は単一ではなく多様性に溢れているという事に気付かせる。			○	知：デジタル表現をアナログ表現に転換する事ができる。 思：自分の追い求める作品を目指して、思考し、判断し、表現しようとしている。 態：真剣に楽しんで、授業課題に取り組んでいる。	○	○	○	6
		内容：木版画 目標：複製芸術の行程を学び、モノクロ表現の可能性を追求する。	モノクロ表現で原画を制作し、それを木版画に起こしていく。 彫刻刀の扱い方を体得し、彫による線の強弱など多様な表現に挑戦する。	○		○	知：版画にするには、原画をどのように転写すればよいか理解している。 思：自分の求めるイメージを目指して、思考し、彫刻している。 態：真剣に楽しんで、授業課題に取り組んでいる。	○	○	○
3 学 期	内容：ポスター表現 目標：作品制作を通じて、広告美術の世界について理解を深める。	商業と美術の関わりに興味関心を持ち、広告に使用されているポスターについて理解を深める。			○	知：効果的な視覚伝達デザインの方法を取り入れている。	○	○	○	20
		写真や色面構成などを効果的に活用し、明快な画面構成で伝える技術を学ぶ。				思：誰に何をどのように伝えるのか、その為にはどのような表現方法が適切であるかを考え、画面を構成している。 態：真剣に楽しんで、授業課題に取り組んでいる。				
合計										78

高等学校 令和8年度（4学年用）教科

芸術 科目 発展美術

教科：芸術

科目：発展美術

単位数：2 単位

対象学年組：第 4 学年

教科担当者：旭 仁也

使用教科書：（ 日本文教出版 高校生の美術Ⅲ ）

教科 芸術科 美術 の目標： 授業を通して、技術を磨き自己表現を探究する。

【知識及び技能】 道具の特性を理解し、作品制作に適切に活用する。

【思考力、判断力、表現力等】 多様な表現の素晴らしさを知り、自己の表現の幅を広げる。

【学びに向かう力、人間性等】 題材の目標を理解して、作品制作に真摯に取り組む。

科目 発展美術 の目標： 多様な表現の展開を学び、自己の価値観を掘り下げるとともに、作品を介して伝える。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
道具の特性を理解して、作品制作に活用できる。	作品を通して何を考え、何を伝えようとし、どう表現したらよいかを具現化しようとしている。	粘り強く楽しんで、作品制作に向き合っている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			評価規準	知	思	態	配 当 時 数	
			絵 ・ 彫	デ 映	鑑 賞						
1 学 期	内容：自己表現の追求、その1  目標：自己の内面と向き合い、作品を通じて、表現したいことを具現化する。	これまで取り組んできた美術の授業の総まとめとして、自己が表現したいことは何なのかを考えさせ、作品制作に取り組ませる。  対話を通じ、自己の興味や思考を深く掘り下げ、そこから表現したいことの内容を検討させる。  年間を通じて、生徒主体で作品制作に向かわせる。	○	○	○	○	○	○	○	26	
						知：これまで学んできた表現方法や技法などを参考に、自己表現を深化させている。  思：完成後の作品展示も見据え、構想を膨らませている。 作品制作するうえで必要な要素を判断し、自己表現に取り入れようとしている。  態：構想段階から完成後の作品展示まで通して、真剣に授業課題に取り組んでいる。					
2 学 期	内容：写真表現 目標：多様な視点や価値観があることを知る。  内容：自己表現の追求 その2（前半）  目標：自己の内面と向き合い、作品を通じて、表現したいことを具現化する。	スマホを活用して、写真表現の入り口に立つ。 同一テーマで取り組んだ他者の作品鑑賞を通して、世の中の見かた、見え方は単一ではなく多様性に溢れているという事に気付かせる。				○	○	○	○	6	
		社会における美術の関わりを意識させ、自己表現ではあるが、自己満足だけを評価の基準としない作品制作を行わせる。	○	○	○	○					知：1学期の学習内容を踏まえたうえで、作品制作に必要な表現方法や技能を見極め、取り組んでいる。
3 学 期	内容：自己表現の追求 その2（後半）  目標：自己の内面と向き合い、作品を通じて、表現したいことを具現化する。	作品展示の方法や見せ方など、自己表現に込めた制作意図を鑑賞者に伝えるためには、どのようにしたら良いかを考えさせ、取りまとめる。	○	○	○	○	○	○	○	20	
				思：作品制作するうえで必要な要素を判断し、自己表現に取り入れようとしている。  完成後の作品を展示するために、どのような方法や形態で行えば制作意図が鑑賞者に伝わるかを検討し、必要な手段を講じている。  態：真剣かつ意欲的に、授業課題に取り組んでいるか。							
										合計	78





高等学校 令和8年度（3学年用） 教科

外国語

科目

英語コミュニケーションⅡ

教科：外国語

科目：英語コミュニケーションⅡ

単位数：3

単位

対象学年組：第3学年

教科担当者：会坂 友子

使用教科書：（数研出版「COMET English CommunicationⅡ」）

教科 外国語

の目標：

【知識及び技能】 外国語によるコミュニケーションから必要な情報や考えなどを聞き取り、話し手の意図を的確に理解できる。

【思考力、判断力、表現力等】 外国語を聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり、的確に表現したり伝え合ったりできる。

【学びに向かう力、人間性等】 言語活動を通して、情報や考えなどを理解し、外国語やその背景・文化、社会や世界、他者との関わりに着目してとらえ、コミュニケーションを図り、他者や社会に関わり、伝え合おうとする態度を育てる。

科目 英語コミュニケーションⅡ

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握することができ、概要や要点を目的に応じてとらえること、基本的な英語表現を理解し、場面に応じて活用することができる力を養う。	聞いたり読んだりしたことを基に、基本的な語句や文、や応用的な表現を用いて、情報や考えなどを論理的に注意して話すことや書くことによって伝え合うことができる力を養う。	聞いたり読んだりしたことを基に、情報や考え、自分の気持ちなどを簡単な英語やや応用的な表現を使って話そうとする姿勢、伝え合おうとする姿勢を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域				評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			聞	読	話 （や）	書					
1 学 期	Lesson1 Places Worth Visiting (行ってみたい場所)	・want to ～ / want 人 to ～ ・教科書、補助プリント ・視聴覚教材／一人一台端末の活用 等	○	○	○	○	【知識及び技能】 各表現について理解し、概要や要点をとらえる技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 単元について理解し、自分の考えや気持ちを話して伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 単元の内容について、背景や関連する内容について、考えや気持ちを話して伝えようとしている。	○	○	○	15
	English Conversation	【ALTとのIT授業】 ・英語の質問を聞き取れる ・質問の応答や自分の考え・意見などを伝えることができる	○	○	○	○	【知識及び技能】 テーマについての表現や文化背景を理解し、概要や要点をとらえる技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 テーマについての英語表現を用いて、自分の考えや気持ちを伝え合うことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 テーマについての英語表現を用いて、自分の考えや気持ちを伝えようとしている。	○	○	○	5
	定期考査		○	○	○	○		○	○	○	1
	Lesson2 Iwago Mitsuaki: Animal Photographer (動物写真家 岩合光昭)	・疑問詞+to不定詞 ・教科書、補助プリント ・視聴覚教材／一人一台端末の活用 等	○	○	○	○	【知識及び技能】 各表現について理解し、概要や要点をとらえる技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 単元について理解し、自分の考えや気持ちを話して伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 単元の内容について、背景や関連する内容について、考えや気持ちを話して伝えようとしている。	○	○	○	15
2 学 期	English Conversation	【ALTとのIT授業】 ・英語の質問を聞き取れる ・質問の応答や自分の考え・意見などを伝えることができる	○	○	○	○	【知識及び技能】 テーマについての表現を理解し、概要や要点をとらえる技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 テーマについての英語表現を用いて、自分の考えや気持ちを伝え合うことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 テーマについての英語表現を用いて、自分の考えや気持ちを伝えようとしている。	○	○	○	5
	定期考査		○	○	○	○		○	○	○	1
	Lesson3 The Haka (世界の文化ノハカ)	・分詞 ・教科書、補助プリント ・視聴覚教材／一人一台端末の活用 等	○	○	○	○	【知識及び技能】 各表現について理解し、概要や要点をとらえる技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 単元について理解し、自分の考えや気持ちを話して伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 単元の内容について、背景や関連する内容について、考えや気持ちを話して伝えようとしている。	○	○	○	16
	English Conversation	【ALTとのIT授業等】 ・一人一台端末の活用 ・英語の質問を聞き取れる ・質問の応答や自分の考え・意見などを伝えることができる	○	○	○	○	【知識及び技能】 テーマについての表現を理解し、概要や要点をとらえる技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 テーマについての英語表現を用いて、自分の考えや気持ちを伝え合うことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 テーマについての英語表現を用いて、自分の考えや気持ちを伝えようとしている。	○	○	○	6
3 学 期	定期考査		○	○	○	○		○	○	○	1
	Lesson4 Digital Detox (デジタルデトックス)	・if節・疑問詞節 ・教科書、補助プリント ・視聴覚教材／一人一台端末の活用 等	○	○	○	○	【知識及び技能】 各表現について理解し、概要や要点をとらえる技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 単元について理解し、自分の考えや気持ちを話して伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 単元の内容について、背景や関連する内容について、考えや気持ちを話して伝えようとしている。	○	○	○	16
	English Conversation	【ALTとのIT授業等】 ・一人一台端末の活用 ・英語の質問を聞き取れる ・質問の応答や自分の考え・意見などを伝えることができる	○	○	○	○	【知識及び技能】 テーマについての表現を理解し、概要や要点をとらえる技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 テーマについての英語表現を用いて、自分の考えや気持ちを伝え合うことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 テーマについての英語表現を用いて、自分の考えや気持ちを伝えようとしている。	○	○	○	5
	定期考査		○	○	○	○		○	○	○	1
3 学 期	Lesson5 Goal Setting (目標設定)	・seem ・教科書、補助プリント ・視聴覚教材／一人一台端末の活用 等	○	○	○	○	【知識及び技能】 各表現について理解し、概要や要点をとらえる技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 単元について理解し、自分の考えや気持ちを話して伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 単元の内容について、背景や関連する内容について、考えや気持ちを話して伝えようとしている。	○	○	○	21
	English Conversation	【ALTとのIT授業等】 ・一人一台端末の活用 ・英語の質問を聞き取れる ・質問の応答や自分の考え・意見などを伝えることができる	○	○	○	○	【知識及び技能】 テーマについての表現を理解し、概要や要点をとらえる技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 テーマについての英語表現を用いて、自分の考えや気持ちを伝え合うことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 テーマについての英語表現を用いて、自分の考えや気持ちを伝えようとしている。	○	○	○	8
	定期考査		○	○	○	○		○	○	○	1
										合 計	117



高等学校 令和8年度（2学年用）教科

家庭科 科目 家庭総合

教科：家庭科

科目：家庭総合

単位数：2 単位

対象学年組：第2学年

教科担当者：宮内 淑子

使用教科書：（高等学校 家庭総合 持続可能な未来をつくる）

教科 家庭科

の目標：授業を通して生活に必要なスキルと知識を身に付ける。

【知識及び技能】 道具の特性を理解し、課題制作に適切に活用する。

【思考力、判断力、表現力等】 授業を通して思考し、生活に必要な知識を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 題材の目標を理解して、作品制作に真摯に取り組む。

科目 家庭総合

の目標：多様な表現の基礎を学び、今後の作品制作に活用していけるようになる。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
道具の特性を理解して、作品制作に活用できる。	授業を通して何を考え、何を伝えようとし、生活の場面でどう表現したらよいかを具現化しようとしている。	真剣に授業に向かっている。

	単元計画	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	○生涯発達する自分 ・青年期を生きる ・キャリアの形成  ○経済生活をつくる  ○被服製作 ・私たちと衣生活 ・被服の機能 ・被服の選び方	・教材 教科書、ワーク、プリント 等  ・一人1台端末の活用 授業の感想などをレポートにまとめる。	・授業で学んだことを活かし、道具の特性を理解し、作品制作に活用している。【知識及び技能】  ・授業で学んだことを活かし、どうすれば、日常の生活力が向上するかを考え、それを表現することができる。【思考力、判断力、表現力等】 ・授業に意欲的に取り組み、内容を主体的に理解しようとしている。【学びに向かう力、人間性等】	○	○	○	23
	定期考査			○	○		1
2 学期	○人の一生と被服  ○人の一生と食事 ・人体と栄養 ・炭水化物 ・脂質 ・タンパク質 ・ミネラル ・ビタミン ・嗜好食品と健康増進のための食品 ・食品の安全と衛生	・教材 教科書、ワーク、プリント 等  ・一人1台端末の活用 授業の感想などをレポートにまとめる。	・授業で学んだことを活かし、道具の特性を理解し、作品制作に活用している。【知識及び技能】  ・授業で学んだことを活かし、どうすれば、日常の生活力が向上するかを考え、それを表現することができる。【思考力、判断力、表現力等】 ・授業に意欲的に取り組み、内容を主体的に理解しようとしている。【学びに向かう力、人間性等】	○	○	○	28
	定期考査			○	○		1
3 学期	○調理の基本 ・調理器具の扱い  ○充実した生涯へ ・超高齢社会を生きる ・高齢期の生活 ・高齢社会を生きる	・教材 教科書、ワーク、プリント 等  ・一人1台端末の活用 授業の感想などをレポートにまとめる。	・授業で学んだことを活かし、道具の特性を理解し、作品制作に活用している。【知識及び技能】  ・授業で学んだことを活かし、どうすれば、日常の生活力が向上するかを考え、それを表現することができる。【思考力、判断力、表現力等】 ・授業に意欲的に取り組み、内容を主体的に理解しようとしている。【学びに向かう力、人間性等】	○	○	○	16
	定期考査			○	○		1

合計
70

高等学校 令和8年度（3学年用）教科

家庭科 科目 家庭総合

教科：家庭科

科目：家庭総合

単位数：2 単位

対象学年組：第 3 学年

教科担当者：宮内 淑子

使用教科書：（高等学校 家庭総合 持続可能な未来をつくる）

教科 家庭科

の目標：授業を通して生活に必要なスキルと知識を身に付ける。

【知識及び技能】 道具の特性を理解し、課題制作に適切に活用する。

【思考力、判断力、表現力等】 授業を通して思考し、生活に必要な知識を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 題材の目標を理解して、作品制作に真摯に取り組む。

科目 家庭総合

の目標：多様な表現の基礎を学び、今後の作品制作に活用していけるようになる。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
道具の特性を理解して、作品制作に活用できる。	授業を通して何を考え、何を伝えようとし、生活の場面でどう表現したらよいかを具現化しようとしている。	真剣に授業に向かっている。

	単元計画	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	○生涯発達する自分 ・青年期を生きる ・キャリアの形成  ○経済生活をつくる  ○被服製作 ・私たちと衣生活 ・被服の機能 ・被服の選び方	・教材 教科書、ワーク、プリント 等  ・一人1台端末の活用 授業の感想などをレポートにまとめる。	・授業で学んだことを活かし、道具の特性を理解し、作品制作に活用している。【知識及び技能】  ・授業で学んだことを活かし、どうすれば、日常の生活力が向上するかを考え、それを表現することができる。【思考力、判断力、表現力等】 ・授業に意欲的に取り組み、内容を主体的に理解しようとしている。【学びに向かう力、人間性等】	○	○	○	23
	定期考査			○	○		1
2 学期	○人の一生と被服  ○人の一生と食事 ・人体と栄養 ・炭水化物 ・脂質 ・タンパク質 ・ミネラル ・ビタミン ・嗜好食品と健康増進のための食品 ・食品の安全と衛生	・教材 教科書、ワーク、プリント 等  ・一人1台端末の活用 授業の感想などをレポートにまとめる。	・授業で学んだことを活かし、道具の特性を理解し、作品制作に活用している。【知識及び技能】  ・授業で学んだことを活かし、どうすれば、日常の生活力が向上するかを考え、それを表現することができる。【思考力、判断力、表現力等】 ・授業に意欲的に取り組み、内容を主体的に理解しようとしている。【学びに向かう力、人間性等】	○	○	○	28
	定期考査			○	○		1
3 学期	○調理の基本 ・調理器具の扱い  ○充実した生涯へ ・超高齢社会を生きる ・高齢期の生活 ・高齢社会を生きる	・教材 教科書、ワーク、プリント 等  ・一人1台端末の活用 授業の感想などをレポートにまとめる。	・授業で学んだことを活かし、道具の特性を理解し、作品制作に活用している。【知識及び技能】  ・授業で学んだことを活かし、どうすれば、日常の生活力が向上するかを考え、それを表現することができる。【思考力、判断力、表現力等】 ・授業に意欲的に取り組み、内容を主体的に理解しようとしている。【学びに向かう力、人間性等】	○	○	○	16
	定期考査			○	○		1

合計
70





高等学校 令和8年度（1～3学年用） 教科

人間と社会

教科： 人間と社会

単位数： 1 単位

対象学年組：第 1～3 学年

教科担当者： 全教員

使用教科書： ( )

教科 人間と社会 の目標：

【知識及び技能】

【思考力、判断力、表現力等】

【学びに向かう力、人間性等】

科目 人間と社会 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生徒が意見交換し、自己の意見と異なる意見があること、自己と同じ意見でも理由が異なることを発見する。	体験活動を通じて道徳性を養い、自分自身の価値観に基づき判断基準を形成し、社会的現実を照らしてよりよい生き方を主体的に選択し行動する力を養う。	興味・関心やをもち、これからの自分の生き方を考え、自分で選択し行動することの意義を学ぶ。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
興味・関心やをもち、これからの自分の生き方を考え、自分で選択し行動することの意義を学ぶ。	<p>○事前学習 1</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「人間と社会」で育成したい資質・能力や評価について説明する</li> <li>・郷土の自然維持や環境美化の体験活動の意義について考える。また周囲の人々に配慮しながら安全に活動を行うための注意点について説明する。</li> </ul> <p>○体験活動 1</p> <p>大島の環境美化活動（弘法浜海浜清掃）</p> <p>（1）郷土を大切にすることを養う</p> <p>連携先 伊豆大島ミュージアム ジオノス</p> <p>1 自然と人間の関わり合い</p> <p>（1）内容について学ぶ</p> <p>（2）内容についてグループ討論する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ケーススタディ</li> <li>あなたならどうする？で議論する</li> </ul>	出席状況、授業に対する取り組み状況などを総合的に判断して文章で評価する。	○	○	○	7
興味・関心やをもち、これからの自分の生き方を考え、自分で選択し行動することの意義を学ぶ。	<p>○事前学習 2</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体験活動の意義と安全に「火の用心」を行うための注意点について</li> </ul> <p>○体験活動 2</p> <p>地域社会の安全向上のための活動（夜間パトロール）</p> <p>（1）郷土を大切にすることを養う</p> <p>連携先 大島警察署</p> <p>2 地域社会を築く</p> <p>（1）内容について学ぶ</p> <p>（2）内容について考え、グループ討論する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ケーススタディ</li> <li>あなたならどうする？で議論する</li> </ul>	出席状況、授業に対する取り組み状況などを総合的に判断して文章で評価する。	○	○	○	6
興味・関心やをもち、これからの自分の生き方を考え、自分で選択し行動することの意義を学ぶ。	<p>3 文化の多様性</p> <p>（1）内容について学ぶ</p> <p>（2）内容についてグループ討論する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ケーススタディ</li> <li>あなたならどうする？で議論する</li> </ul>	出席状況、授業に対する取り組み状況などを総合的に判断して文章で評価する。	○	○	○	2
						合計
						15